

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（141）」

2. 日時：令和4年8月22日（月）16時00分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：藪執行役員 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年8月9日に受取済み>>

- ・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁タニです。本日のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:07	今日の案件としては、泊発電所3号炉基準津波に関するコメント回答。
0:00:14	地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせということで、この資料の方が、8月9日に提出をいただいていますこの資料を用いて、
0:00:26	行いますので、まず資料の説明の方北海道電力からお願いします。
0:00:33	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくお願いたします。
0:00:39	今谷さんからあった通り、基準津波に関して実施に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせについて、資料説明いたします。
0:00:50	説明はアオキから説明時間は30分程度を予定してございますよろしくお願いたします。
0:00:58	北海道電力の青木から説明させていただきます。
0:01:02	資料の方が免許をさせていただいております。
0:01:06	浦野丸、2ページの目次をお願いたします。
0:01:10	今回の説明ですが、1.1章、本日の説明概要において今回の資料の要点をまとめておりますのでこちらに基づいて先に説明させていただきます。
0:01:21	その後、1.2章以後、
0:01:24	以降に詳細をまとめておりますので、1.2章以降については、衛藤。
0:01:30	要点をかいつまんで絞って説明させていただきます。
0:01:34	説明概要というところで3ページをお願いたします。
0:01:39	こちら今回の説明概要のうち説明範囲を示したページとなっております。
0:01:44	まず一つ目の丸、クリティカルパスが基準津波の策定であることを考慮しまして、以下の検討項目残されている審査上の論点を先行して今回説明させていただきます。
0:01:56	一つ目の矢羽根のポチの地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせ。
0:02:03	こちらは通しナンバーの7に関連します。続いて6ポジ、基準津波の策定、こちらは通しナンバーの8番に関連いたします。
0:02:12	また、過去の審査会合における指摘事項のうち、No.25、29、26について今回説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	下段に、津波評価の全体フローを書いておりましたこのうち仕分けのところを、今回説明する範囲としております。
0:02:31	続きまして4ページをお願いいたします。
0:02:37	作業スケジュールに関する指摘事項というところで、
0:02:41	左側の指摘事項の25番。
0:02:44	今後実施するそれぞれの検討項目については基準津波の策定の結果まで1度に説明するのではなく、検討項目ごとに資料が整い次第説明を行うこと。
0:02:55	あとナンバー29。
0:02:57	クリティカルパスとなる作業工程を念頭に検討することを、
0:03:01	これらの指摘を踏まえまして回答方針としましては、令和4年7月1日の審査会合において、基準津波策定までの検討項目ごとに検討方針を先に説明いたしました。
0:03:14	当クリティカルパスが基準津波策定であることを考慮しまして以下のスケジュールで検討項目を取りまとめて説明するというところになります。
0:03:23	続いて5ページをお願いいたします。
0:03:27	こちらの5ページから12ページにかけて、ポチの地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせの概要について説明させていただきます。
0:03:38	テキストボックスの丸、津波発生要因の組み合わせの検討対象は、各地形モデルにおける評価項目ごとの最大ケースを対象としております。
0:03:49	こちら表中に、
0:03:51	今年の5月に説明しました、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースの一覧を掲載してございます。
0:04:00	こちら大きく四つ表が分かれておりましたこちら地形モデルごとに分けて表を作成しております。
0:04:06	こちらの4地形×縦長行で、七つの評価項目の4掛け7-28ケースを対象に、
0:04:15	当組み合わせの検討を実施していきます。
0:04:19	このうち、健全地形モデル、一番左側に書いておりますがこちらを例に説明しますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:25	3号炉取水口の上昇側、12号炉取水口の上昇側、あとパルスを考慮しない時間については、他の評価項目の最大ケースと重複しているというところから、
0:04:38	これらを除いて健全地形モデルとしては、ケース①からケース④という形で、最大ケースを、
0:04:45	決めております。
0:04:47	と同様に、同じような考えで他の地形モデルも整理していくと、ケース①から⑳。
0:04:53	までの20個の波源は、津波発生要因の組み合わせの検討対象というところでこれ以降で使う波源となります。
0:05:02	続いて6ページをお願いいたします。
0:05:09	一つ目のマル、令和4年7月1日の審査会合においてTMACCSの算出対象地点に関する検討方針を説明しております。
0:05:19	上記の検討方針に基づく検討結果としては、地形モデルによってはTMACCSが算出できない場合があるというところから検討方針を変更いたしました。
0:05:29	この変更前の検討方針については7ページ、変更後の検討方針については12ページに掲載してございます。
0:05:36	表中に変更前後の方針書いておりまして、左側が変更前のものになっております。
0:05:43	土肥変更前の検討方針ですと、
0:05:46	防潮で前面上昇側の最大ケースを対象に、以下の2地点のTMACCSを設定するというところで、日本海東縁部の最大発生地点、
0:05:57	陸上地すべり川白の災害発生地点、
0:06:00	こちらの2地点に関するTMACCSを設定するという方針でした。
0:06:05	こちらの方針に基づいて検討したところ、表中の真ん中のベースになるんですが、
0:06:11	地形モデルによっては膨張で全面上昇側の最大ケースを対象に、Pマックスが算出できない場合が発生いたしました。
0:06:19	この結果を踏まえまして変更後のものが右側に書いておりまして、北条邸前面の最大ケースを対象に、矢羽根で示します八つの時点のところでTMACCSを設定する方針に変更してございます。
0:06:33	もともと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:34	視点として考えていました日本海東縁部の最大発生地点と陸上地すべりの川下最大発生時点が残して、これに加えて、3号取水口上昇側からパルスを考慮しない時間、
0:06:47	に関するTMACCSを設定する方針に変更しています。
0:06:51	また、これらの変更に合わせて膨張で全面上昇側だけではなくてすべてのケースを対象に、各評価項目のキーMACCSを設定する方針に変更しております。
0:07:03	続いて7ページお願いいたします。
0:07:07	こちらは変更前の検討方針というところで説明は割愛させていただきます。
0:07:12	続いて8ページ9ページをお願いいたします。
0:07:18	8ページ9ページに変更前後のPMACCSの算出の対象を掲載してございます。8ページが変更前で9ページが変更後のリーマックスの算出対象となっております。
0:07:31	この表中の赤枠で示しているところが、TMACCSのチャンス対象というところで考えておまして、変更前ですと、
0:07:40	例えばケース14については防潮で前面上昇側のケースであるというところから、
0:07:45	日本海東縁部の最大発生地点と陸上地すべり川白の最大発生地点でTMACCSを算出するという方針でした。
0:07:54	ここで包丁で前面上昇側の、
0:07:58	ところでは、TMACCS算出できないという結果を踏まえて変更後の9ページのものですと。
0:08:04	あとこちらの表中のマトリックスを網羅的に、
0:08:07	検討するという形でTMACCSを算出する変更方針に変更してございます。
0:08:14	続いて10ページをお願いいたします。
0:08:19	こちらのページではTマックスが算出できないと先ほど説明しましたがそちらの理由を資料化したものになっております。
0:08:27	下段の表中の左側のところに、日本海東縁部の最大発生地点の時刻歴は形をもとにMACCSを、
0:08:35	算出してみた結果となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:38	こちら陸上地すべりかわしらは日本海等意味で想定される地震に伴う津波の最大発生地点に遡上しないということから、T M A C C Sを算出できないという結果になっております。
0:08:50	また右側、白川氏らの再発生地点に関する分析です。
0:08:56	日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の遡上する時間と、川下が遡上する時間が $T_s$ から $T_s + C D$ の範囲よりも離れているため、T M A C C Sを算出できないという結果になっております。
0:09:11	続いて11ページをお願いいたします。
0:09:15	こちらの資料では、同一波動までの津波解析の検討イメージ図において、変更前ですと一つのT M A C C Sをもとに、
0:09:25	設定するようなイメージで掲載してございましたが変更後のもので、起因M A C C Sは複数算出される場合のイメージ図に変更してございます。
0:09:35	またここで、時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケースのT Pというもので、
0:09:41	O T M A C C Sが複数算出され、そちらが間があく場合については、その間については5秒ピッチで検討すると。
0:09:49	いうところで、こちらの青字で書いているところの方針を掲載してございます。
0:09:57	それで12ページ。
0:10:01	先ほど7ページに変更前の検討方針説明しましたが、そちらをもとに変更後の検討方針としてまとめたものが12ページとなっております。
0:10:11	このうち黄色ハッチングかけたところが変更箇所として明示したところになってございます。
0:10:18	こちらの内容については先に説明した内容をまとめたものなので割愛させていただきます。
0:10:24	続いて13ページをお願いいたします。
0:10:28	こっちは6ポチ基準津波策定の概要となります。
0:10:33	一つ目のマル、地震に伴う津波、地震以外の要因に伴う津波、
0:10:38	地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせ、こちらの三つの結果を比較しまして地形モデルごとに各評価項目に影響の大きい波源を基準津波として策定いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:52	また今後、茶津入行トンネル等を評価点にしたパラスタを実施して基準津波に追加するというところがありますのでこちらのページについては、現時点での基準津波という位置付けとなります。
0:11:06	また基準津波の考え方ですが、
0:11:10	こちらの表を見ていただくと四つの地形モデルに対して七つの評価項目があります。
0:11:16	こちらの4掛け7-28ケース。
0:11:19	基準津波になりまして、このうち、
0:11:24	例えば12号取水口上昇側の防波堤の損傷高齢者地形モデル①とかですと、基準津波と8と同じなどと掲載しておりますが、一部重複するケースがございますので、規制庁2人です。
0:11:38	すいません。話。
0:11:40	ですね、ちょっと最初に言えばよかったんですけど、今日のヒアリングの内容としては、もう基準津波の策定までは、次の会合でもですねまずまだ議論するつもりはなくてですね。
0:11:55	これ北海道電力のスケジュールの案、順番からしても、今回この話を聞くのは、
0:12:03	組み合わせの結果までっていうことだと私たちは思ってるんですね。で、この基準津波の策定の部分はですね、
0:12:14	会合のときだから、次のヒアリングが行われるようだったらそのタイミングではもうこれは、
0:12:22	外してもらいたいなっていうことを考えてした。従って今日の説明ではですね、この概要この基準津波についての説明っていうのは、
0:12:32	説明からは外してもらえたらなと思うんですけど。
0:12:37	どうですかね。
0:12:40	H e a d。
0:12:43	掲載してあるんですか説明です。
0:12:46	何か答える。
0:12:49	説明は割愛して、北海道電力奥寺でございます。説明上はか、とりあえず、まず割愛させて進めたいと思います。
0:13:01	はいどうぞ仲川大城です。続いて説明させていただきます。
0:13:05	13ページ、基準津波を飛ばすというところで、それで15ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:13	こちら指摘事項No. 26番の時間差のパラメータスタディの時間ピッチに関する説明となります。
0:13:21	この時間差のパラメータスタディの時間ピッチについては、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の周期、こちらが8分というところで、こちらの100分の1に相当する5秒として設定しております。
0:13:35	数値シミュレーション結果を、によれば、ピークをとらえることができていることから5秒ピッチに妥当性があることを確認いたしました。
0:13:43	そちらの結果は16ページ17ページに掲載しております。
0:13:48	まず16ページをお願いいたします。
0:13:51	こちらでは、例として健全地形モデルにおけるドイツ波動場の数値シミュレーション結果を下表の通りにまとめております。
0:14:00	こちらを先に説明した通り、健全地形モデルについては、ケース①からケース④が対象のは形となりますので、ケース1から4について、各評価項目の最大ケース。
0:14:12	表の一覧にまとめております。
0:14:15	このうち、オレンジ色のハッチングかけたものが、衛藤。
0:14:20	健全地形モデルにおける評価項目ごとの最大ケースというところになります。
0:14:25	こちらのオレンジ色のケースを対象としてグラフとして示したものが17ページにまとめております。
0:14:33	健全地形モデルのケース①からケース④のうち、評価項目の最大ケースについて、グラフで示しているようにピークを確認いたしました。
0:14:43	この政治シミュレーション結果によればピークをとらえていると、いうことができっておりますので、この検討の時間幅である5秒ピッチについては妥当性があるというところを確認しております。
0:14:55	また、このうち下段の真ん中の貯留堰を下回る時間のケース④、
0:15:01	については、横軸の組み合わせの時間差に対して、貯留堰を下回る時間が急増する場所があると。
0:15:08	具体的には130秒から135秒になる時に値が大きくなっております。
0:15:14	この理由については、180ページから183ページのところで詳細を説明していきます。現時点では説明ちょっと飛ばさせていただきます。
0:15:25	ここまでが概要に関する説明となりまして以降、19ページから30ページ。
0:15:33	にかけては指摘事項に関するまとめですので説明割愛します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:39	33 ページをお願いいたします。
0:15:45	こちらのページから地震に伴う、
0:15:49	地震に伴う津波と地震以外のように伴う津波の組み合わせの説明の詳細ページとなります。
0:15:56	そこで33 ページから61 ページにかけてというところは検討方針を示したものでして、
0:16:03	前回の審査会合において説明済みであるというところと、また、
0:16:08	説明がいろんな説明概要の中で、変更点について説明しておりますので詳細な説明を割愛させていただきます。
0:16:16	ページ飛びまして、63 ページをお願いいたします。
0:16:24	こちらを組み合わせ検討における健全地形モデルにおける津波解析結果を取りまとめたページが以降続いていきます。
0:16:32	これ64 ページ、65 ページをお願いいたします。
0:16:37	こちら、
0:16:39	表の一番左側にケース①と書いておりまして、
0:16:44	対象ケースケース①として整理したページに、
0:16:48	ケース1 について取りまとめた資料となっております。
0:16:51	表の横から見ていきますと、組み合わせの時間範囲 $T_s$ から $T_s + T_D$ についてはこのケース①については23 秒から136 秒。
0:17:02	組み合わせの時間差というところで、こちら朱書きで23 秒、92 秒、136 秒書いておりまして、
0:17:11	こちらは線形足し合わせの結果から出てきたTMACCSのケースとなっております。
0:17:16	また検討方針で説明した通り、このTMACCSの間については5 秒ピッチで検討するというところから、アオキのケース、
0:17:25	時間差のパラメータスタディの範囲に基づく実施ケースとして整理しております。
0:17:31	また右側に各評価項目の結果一覧を掲載しておりましてこのうち黄色ハッチングかけたものが、ケース①における最大になる。
0:17:41	1 ケースを、
0:17:42	示したものになっております。
0:17:45	65 ページをお願いいたします。
0:17:48	こちら64 ページの、
0:17:51	数字の一覧をグラフ化したものが65 ページになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:56	こちら横軸に組み合わせの時間差、縦軸に評価の水位上昇量であったり、長利益を下回る時間等についてまとめております。
0:18:04	その下段のテキストボックスに結論を書いております、
0:18:08	健全地形モデルのケース①からケース④、
0:18:12	このうち、
0:18:13	ちょっとあのケース①で評価項目の最大ケースになるのは、オレンジハッチングかけました防潮で前面の上昇側と 12 号取水口の上昇側になっておましてこれらのケースについて P E E K を確認いたしました。
0:18:28	またこのオレンジハッチング以外のケースについては健全地形モデルの最大ケースにならないということも確認いたしました。
0:18:37	以降同様の流れで、66 ページから 117 ページにケース⑳まで整理しております。内容については同じようなまとめ方なので割愛させていただきます。
0:18:50	また時間差のパラメータスタディの範囲については、
0:18:54	ケース①と同様に、
0:18:56	おおよそ $T_s$ から $T_s + T_D$ を網羅できるような形で、
0:19:00	解析を実施することになっております。
0:19:03	ページが飛びまして、120 ページをお願いいたします。
0:19:15	120 ページから 136 ページにかけて、組み合わせの検討における最大ケースについて整理したのになっております。
0:19:25	5 ページ飛びまして、138 ページをお願いいたします。
0:19:34	138 ページでは、地震に伴う津波の最大ケースを一覧でまとめたものになっております。
0:19:42	139 ページでは、地震以外の要因に伴う津波の最大ケース、具体的には陸上地すべり川柴野カイダケースを取りまとめたものになっております。
0:19:53	ここで 136 ページちょっとページ戻るんですが、
0:19:57	こちら組み合わせケースの最大ケースをまとめたものになっております。
0:20:03	にちょっと基準津波といった説明飛ばすというところで、この 136、138139。
0:20:10	の最大ケースになるものを、基準津波にすることを考えております。
0:20:17	もう 1 点だけ補足させていただきますと 141 ページ。
0:20:21	ちょっとこちら基準津波としての説明ではなくなるんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	計表中の赤色で書いているところについては、
0:20:33	基準津波 13 と 19 でナンバリングしているもの。
0:20:36	については、こちらの地震に伴う津波単独の方は、評価結果が厳しくなるというところでこちらについては地震に伴う津波から選定することを考えております。
0:20:51	続いて、
0:20:53	175 ページをお願いいたします。
0:21:00	木川指摘事項 2830 番に関する今後の検討方針になります。参考資料という扱いで整理させていただいております。
0:21:10	一つ目の丸、今後敷地外から敷地内へ通じるトンネルの開口部、
0:21:15	茶津 25 トンネルの入口灯囲む出入口、アクセスルートトンネルの入口。
0:21:20	に評価点を追加し、パラメータスタディを実施した上で基準津波に追加することを考えております。
0:21:27	友田耐津波設計方針において追加した基準津波を対象に入力津波を設定し、上記の開口部が津波の侵入経路にならないことを説明する予定です。
0:21:40	176 ページ 177 ページに、それぞれのトンネルの概要を掲載させていただきます。
0:21:48	あとまた 178 ページをお願いいたします。
0:21:53	こちら参考として現状の基準津波と基準津波という言葉を使っておりますが組み合わせの対象波源の結果の最大静分布図を確認し、
0:22:03	敷地外から敷地内へとね、通じるトンネルの開口部、
0:22:07	における津波水位を確認いたしました。
0:22:10	こちら例としては 1 ケースのみというところでええと該当箇所の推移が大きいものを掲載させていただきます。
0:22:19	続いて 180 ページをお願いいたします。
0:22:23	こちら補足資料の位置付けで、組み合わせの時間差の変動に対して貯留堰を下回る時間が急増する理由について分析した資料になっております。
0:22:34	とケース③④⑨⑫⑳のケースにおいては、組み合わせの時間差の変動に対して貯留堰を下回る継続時間が急増する結果になっております。
0:22:46	このうち急増する変動幅が最も大きいケース④を対象に、
0:22:51	と急増する組み合わせの時間差の付近であります 125 秒から 140 秒。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	この水位時刻歴は形を確認しており、
0:23:00	を確認します。その確認結果は 181 ページ。
0:23:04	に計算しておりまして、
0:23:10	下段 220530 秒 135 秒 140 秒。
0:23:14	の水位時刻歴明をそれぞれ書いておりまして、
0:23:17	このうち左側二つのもの、130 秒以下については、3 号炉貯留堰の天端高さ T P - 4 メーターを一時的に上回るは形がある。
0:23:29	明があるというところで、処理月を下回る時間は小さい値になっております。
0:23:35	一方 135 秒以上については、この間の筧が貯留池の天端を一時的に上回らないというところから、貯留堰を下回る時間が長くなっているという結果になっております。
0:23:49	続いて 182 ページをお願いします。
0:23:52	先ほど貯留堰を下回る継続時間で説明しましたが今度はパルスを考慮しない時間について整理したページになっております。
0:24:02	こちらもさっきと同様に、パルスを考慮しない時間についても、急増するような現象が出ております。
0:24:08	こちらのケース①を対象に、時刻歴波源を確認したものが 183 ページ。
0:24:15	まとめております。
0:24:17	400、
0:24:19	先ほどと同様なまとめ方になっておりまして 183 ページの下二つの、
0:24:26	下の左の二つのものについては、間葉系がパルセにならない。
0:24:31	右側の二つのものについてはパルスになると、このパルスになるならぬの判定結果が異なっているので、
0:24:38	この間で、
0:24:39	衛藤。
0:24:40	十勝が急増するという結果になってございます。
0:24:45	続いて 184 ページをお願いいたします。
0:24:52	距離的を下回る継続時間の最大ケースとして地震に伴う津波が選定される理由について分析したものです。
0:25:00	防波堤の損傷を考慮した地形モデル②の貯留堰を下回る継続時間の最大ケース。
0:25:06	では実施に伴う津波の方が大きい結果になっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:10	ここで地震に伴う津波と地震以外のように伴う津波の組み合わせではなくて、地震に伴う津波単独の方が大きくなる理由について、以下のケースの比較から分析しております。
0:25:22	この地震に伴う津波については基準津波 19、
0:25:26	組み合わせのものについては、この波源と、陸上地すべり川白尾組合せたもので分析しております。
0:25:33	組み合わせのものについては評価値が最大になる 140 秒。
0:25:38	で、
0:25:39	整理しております。
0:25:41	185 ページお願いいたします。
0:25:46	こちらは形をそれぞれ書いておまして、左側が地震に伴う津波の単独、右側が組み合わせのものになっております。
0:25:55	こちらの、
0:25:56	時刻歴は系のところで、赤い矢印で書いておりますが、
0:26:01	こちらもさっきの説明と同様に、貯留堰の天端高さを一時的に上回るは形がなかったものが組み合わせることによって、
0:26:09	この天端高さを一時的に上回る
0:26:13	理由によって、
0:26:15	地震に伴う津波単独の方が大きい評価結果になるという結果になってございます。
0:26:22	続いて 186 ページお願いいたします。
0:26:26	こちらはパルスを考慮しない時間のもので、地震動な津波単独が選ばれる理由について分析したものです。
0:26:33	整理の仕方については 180480、
0:26:37	前のページと同様になっておりますので説明は割愛します。
0:26:43	藤。駆け足でしたが説明は以上とさせていただきます。
0:26:53	はい。規制庁谷です。
0:26:55	それでは確認の方に入りたいと思うんですけども、
0:27:01	最初に話の途中でちょっと基準津波の部分は、今回の会合では、
0:27:11	効かないような予定になっているので聞きませんというような話をしたと思うんですけど。
0:27:17	これ
0:27:18	資料としては、これ 1 回外してもらった必要があるかなと思うんですけども、会合の中で例えば基準津波っていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:29	方針ぐらいいはですねこの組み合わせの結果を踏まえて、方針としてこういうのを選んでいきますとかいうですね、そういった方針みたいなもの、ものを書いていただくっていうのはそれはいいのかなと思うんですけども。
0:27:43	ちょっとこの基準津波策定のところの項目っていうのを、どこどこまで、
0:27:51	策定する方針をこう考えているとかを入れるか入れないかとかですねその辺は北海道電力のちょっと考えで検討していただけたらと思いますけど、その辺はいいですかね。
0:28:08	北海道電力の奥寺でございます。ちょっと基準津波の策定というと、まだいろいろ検討があって、基準津波の策定まで、
0:28:19	至らないということで、古藤は使いみたいなものが少し説明足りなかったかなと思います。我々の意図を少し説明させていただきますけれども、
0:28:30	組み合わせの検討ということで今回説明させていただいたんですけども、
0:28:36	例えばですね、
0:28:38	136 ページ目をご覧ください。
0:28:43	136 ページに出ているのが今回の検討結果そのものかなと思ってます。
0:28:49	一方ですね、
0:28:51	141 ページちょっと基準津波、
0:28:54	という確定的な言葉は、いろいろご指摘いただいていたいて、
0:29:00	言葉遣いがはばかれるんですけども、
0:29:04	赤字で示している。
0:29:08	部分に関して2種類ございますけど、これが単独の結果になっているということで、
0:29:13	組み合わせというふうになっていないというところが少し説明しづらいなと思う、思いまして、
0:29:21	全体として、地震に伴う津波の部分もあれば組み合わせ、
0:29:26	の結果も、波源として大きいものがあるんだぞというところを総括したいということで、
0:29:32	候補みたいなものを挙げさせていただいているというのが今回説明しなかった意図でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:39	今いただいた話ですと、策定の方針をこう選んでいくとかその辺については、どこまで我々の考えを説明しようかというところを、
0:29:52	以降検討しようかと思えますけれども、一応今回、
0:29:57	これ、この一覧を示させていただいた意図としては、私が今説明した通りでございます。
0:30:03	とりあえず私の説明は以上でございます。
0:30:09	はい。規制庁谷です。
0:30:11	えっとですねそういったことがある、あるから、そうなった時には地震に伴う津波を選ぶんですとかいうそういう方針をですね、説明していただくのがいいと思うんですよね。
0:30:23	ただ今、
0:30:26	何て言うんすかねこの会合の立て付けとしては、組み合わせの評価結果を確認して、
0:30:32	それが妥当であったら基準津波の策定の話をお聞きしようかっていうようなことになってると思うので、
0:30:39	まずは今回の会合っていうのはこの組み合わせの、
0:30:43	妥当性を示すところまでをですね特に注力いただいて、介護をしていただけたらと思います
0:30:52	先ほどの説明の意図というか、何でこんなことをなんでここまで書いてるのかっていうのは、はい聞きおきますので、
0:31:01	いいですかね。
0:31:02	伝わってますかね私の言いたいことっていうのは、北海道電力奥寺でございます井藤よく通じており、私の方も理解してございます
0:31:11	どこまで示すかということ再度
0:31:16	保障するような形になりますけれども持ち帰って検討して次回、基準津波というような言葉が、
0:31:22	出ないような形で、うまくその辺の意図も私が説明した意図なんかも説明できるようにまとめたいと思います。以上です。
0:31:33	規制庁の名倉です。
0:31:35	一言で言うと、
0:31:37	これ基準津波っていう表現を使っているのも誤解があるんですが、
0:31:44	施設側 2、
0:31:49	クリティカルパスで引いている。
0:31:51	線を念頭に言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:55	施設側に、
0:31:58	入力津波能検討をする際の情報として、
0:32:05	伝達すべき波源情報っていいことですね。
0:32:11	それが、
0:32:12	ここで言ってる基準津波一覧ってなってるものですね。
0:32:18	だから基準津波いいんていうふうに言わなければいいんであって、
0:32:24	施設側の方に、
0:32:26	入力津波の計算に際して、
0:32:30	今のところ、情報を伝達するんだけど、その情報はこうですよっていいことですね。
0:32:38	まだ基準津波ではないけれどもっていう、
0:32:44	北海道電力奥寺でございます。まさにそういったき
0:32:51	プラント側に引き継ぐ検討に引き継ぐための波源の一覧として、この今画面に映ってるものを、
0:33:00	暫定でこうやりますよというところの情報を引き渡したくてこのまとめをしてございます。そのような意図ですので、
0:33:08	伊藤に合致するような形で、
0:33:10	我々の意図も合致してますので、まとめをしていきたいと思っております。以上です。
0:33:16	規制庁のナグラでそんな時に基準津波策定っていう項目に書かないで、あくまでも参考として事業者としてこれを施設側に送るんですっていうことの参考情報として出してもらえばそれでいいのかもしれないですけど。
0:33:32	多分多分そういうことかなと思ったんですけど。
0:33:35	それでも駄目だっていうんだったらそれはそれ駄目なのかもしれないけど、私は、私が感じたのはそういうことです。基準津波策定っていう項目を立てて、
0:33:45	そんな中でやると、これが基準津波って、そもそも基準津波って、
0:33:50	敷地の沖合のある定点での形を基準津波というものであって、
0:33:55	実際は基準津波策定ってのはそういうところまで含めて策定することであって、
0:34:02	波源情報として確定を、
0:34:05	した時にそれを基準津波と言うかどうかってのあるんだけど、
0:34:10	そそれを項目を設けてやっているからこれやり過ぎなんじゃないかっていう議論になるんだと思ったんですけどね。何か異論ありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:20	北海道電力奥寺でございます。全く異論ございません。まさに評価項目に対して地形が四つあってこれが最大の波源ですよというところを、
0:34:31	今後のプラントが検討に、
0:34:35	暫定条件として引き継げるように、このこの条件を明示したかったというのが我々の意図ですので、参考情報、基準津波という言葉を使わないような形で取りまとめる方向で、
0:34:50	いきたいと思います。
0:34:52	以上です。
0:34:53	ナグラですみませんちょっと今の私が異論ないでしょうかって聞いたのは、私がすみません、その中に内部的に異論はあるんですかねっても違うんだから言ってくださいねと言っただけだねすみませんちょっと。
0:35:05	他電力さんに異論ありませんかって聞いたわけじゃないんで。
0:35:12	すみません規制庁鈴木ですけど、ちょっと多分同じようなことを言うことになるんだと思うんですけど、まずそもそもとしてまず言えと4ページとか本日の説明概要とかですね。
0:35:24	ここに、
0:35:25	ここIIで6ポツのところ今回一部提出って書いてあること自体がまずここが一番の問題で、
0:35:32	スケジュール上、7番、No.7の組み合わせでかつそれも日本海東縁部と川白の組み合わせですよ。それを、これは市田8月上旬に、
0:35:44	提出して、1ヶ月ぐらいをめぐりて審査会合っていうスケジュールを引いていて、他方でNo. 8って、9月下旬に出てくるはずなのにその一部を今回出して説明しますって、
0:35:56	書いてしまうから、あれ、スケジュール御社カイダんですか、もし会合にかけるとですよ。
0:36:01	あれ管下者の者として方針またスケジュール変えたんでしょうかみたいになるので、
0:36:06	まずそこがきちんと組み合わせの説明だった組み合わせ説明っていうふうに、あまりその、
0:36:11	先々、社として基準津波になるであろう可能性が高いのは、これですって考えておくのは、よく変わりませんし、それを御リスクでプラント側の設計情報としては出すのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:24	構わない話なんですけど、ちょっとスケジュール等をきちんと合う形で、まず前提で資料を作ってくださいねっていうのがすいません、私が言いたいことであると、
0:36:35	その上で先ほどの 741 ページの位置付けのご説明を聞くと、
0:36:41	多分これは名倉三田様に基準津波としてではなくて 136 ページで津波組み合わせですよね、組み合わせの結果をまとめましたと。
0:36:52	ただこれとすでに評価済みの単独ですよね日本海東縁部の。
0:36:57	単独のものと比較すると、
0:36:59	単独のものの中からこれとこれが、
0:37:02	比較して検討したら単独のものの中から、土肥ですかねパなんか赤字で書いた部分ですよねこの 2 ヶ所かな。
0:37:12	これは上回る結果になりましたって、ただそれだけを言えばいいんですよ。
0:37:17	それをなんか基準津波一覧みたいな形で書こうとするから、あれ基準値の一覧ってまだまだ議論するのが先じゃないですかっていうふうになるので、
0:37:28	これ、
0:37:29	141 ページの赤字で書いてあるやつでこれもうすでに評価結果とかこの波源の、
0:37:36	諸元とか、こんなものはもうすでに単独で聞いているわけですよ。
0:37:42	何か今回新しく検討したわけじゃなくて、今回検討した組み合わせの結果と単に横並べて見てみたら、この 2 ヶ所だけは、
0:37:50	単独のものは上回っておりますと。
0:37:53	それぞれだけじゃないですか、そういう理解なんですけど。
0:37:58	北海道電力奥寺でございます。
0:38:01	その通りでございます。コメントの趣旨今までいただいたの、100%理解してございますので、ちょっとスケジュールとの整合性等にも、もう少し気を使いつつ、取りまとめの方、
0:38:16	検討したいと思います。以上です。
0:38:43	規制庁谷です。続いて中身の方の確認とかに入っていきたいんですけど、
0:38:52	今回、8 ページ 9 ページで、下前回会合で説明していた、T M A C C S を出すホ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:03	算出結果算出結果というか、出し方、どうどういったものをDMACC Sとして選ぶかっていう話が、方針を変えたんだっていう説明が、
0:39:14	さっきあったと思うんですけども、この何か背景が、ただ単に上昇側が、
0:39:21	算出できないっていうのが
0:39:24	幾つかあったので、
0:39:26	全体、各校評価地点での価格紅茶。
0:39:31	各評価視点でチャンピオンになってない波源も全部重なるTMACC Sが、
0:39:39	どの病巣になるかっていうのを全部、
0:39:43	いや、やったよっていうのが、9ページの説明っていうことなんですよね。これって
0:39:51	その背景と本当にこの算出できないから、
0:39:56	やってるっていうだけでいいんですかねというのが、
0:40:00	何か例えば9ページでケース17ケース18っていうのは、日本海東縁部の最大発生地点は、
0:40:11	ああそうか、重ね合わせのところが算出できないからっていうことなんですよね。
0:40:17	川白ガスの最大発生地点が算出できないものがあるから、
0:40:23	だから全部やんなきゃいけなくなったってそういう背景でいいんですかね。
0:40:37	すいません聞き方悪かったですかね、8ページから9ページに
0:40:41	方針を変えたっていうのは、
0:40:45	どどどという経緯なんですかねっていうのを聞きたくって、
0:40:52	どうしてこう。はい。
0:40:56	よろしいでしょうか北海道電力の青木です。
0:40:58	ちょっと資料に掲載してるところをもう少し詳しく説明させていただきます。
0:41:03	江藤、まず8。
0:41:06	9ページのところですね。
0:41:09	9ページの一つ目のマル。防潮で前面上昇側の最大ケースを対象に、もともと日本海東縁部の最大発生地点と川原の最大発生時点、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:21	T M A C C Sを算出する方針でした。こちらケース 14 を対象に行っておりまして、こちらをやってみたところ、リーマックス出てこないというところがありましたのでケース需要については、
0:41:33	他の評価項目であります 3 号炉取水口上昇側から、
0:41:38	パルスを考慮しない時間のこの有効方向にまず赤箱を延長いたしました。
0:41:45	刀禰その結果、ケース 14 については、江藤地点ごとにリーマックスいっぱい出すという方針になって、その他のケース 15 からケース 20 については、
0:41:56	その対象の一つだけでいいのかというところを見ていくと、
0:42:01	保守的な観点から網羅的に出した方が検討は保守的になるというところがありましたので、この表示のマトリックスを、
0:42:09	ケース 14 だけではなくて他のケース 15 から 20 についても、網羅的に出すという方針に変更したというところになっております。ちょっとその旨、
0:42:19	口頭で説明させていただきましたが資料上はそういった意図で来、
0:42:24	言葉を作成しております。
0:42:27	当初説明以上です。
0:42:31	規制庁タニです。
0:42:32	えっとですねそうなんですよね保守的にやるっていう観点からふやしたんですよっていうことなのかななんて思ったんだけど、何か根井資料でそういうふうにごうちょっと読めなくて、
0:42:45	何で 1 回会合で説明したことが何か、
0:42:51	ケース 14 で算出できないから全部やるんだっていうのが、何かいまいち、頭に入ってこないで、その変更を北電が考えていることをちゃんとこう、
0:43:02	説明してもらえたら、資料上わかるようにしていただけたらなと思っ
0:43:07	ていました。
0:43:08	最終的にこれ、これが効いて、
0:43:13	なのかどうなのかわかんなくて、
0:43:17	例えば 86 ページ。
0:43:23	これもちょっと資料、このページだけでは資料わかりにくいんですけど、
0:43:29	これいいですね 86 ページで、ケース 5 って言ってるのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:35	多分包丁で前面の
0:43:39	最大のものを、
0:43:42	ですよ。ケース6っていうのが、
0:43:45	その他の3号炉取水口の上昇側のチャンピオンですかね。
0:43:50	とにかくこの選んでる図は、その時点でチャンピオンになるだろうと思って選んでるものが組み合わせると、ことごとくこの
0:44:00	何か違うケースが、チャンピオンになるって、要するにこの
0:44:07	傍聴で前面の上昇側のチャンピオンは、ケース8って言ってこれ下降側で選んでた波源が、
0:44:19	一番大きくなるよと。
0:44:22	3号炉の上昇側についてもそうなんですよね
0:44:27	加古川で選んでた波源が、チャンピオンになるんだよと言って、確かに時間車を考えると、このチャンピオンが変わるっていうのは、
0:44:40	理解はするんですけども、
0:44:43	で、さらにこれを、こういったやり方をすることによって、保守的にしたんだっていうのは、何か説明としてわからんではないんですけど、
0:44:54	ただですね。
0:44:57	このチャンピオンが変わるっていうことを北海道電力としてコードどうどう考えてるのかなっていうのがですね、よくわからなくて、
0:45:05	要するにこれ変わってしまうのであれば、
0:45:10	もっともっと他に、
0:45:13	パラスターの中でオミットしてきたやつが、
0:45:17	実は組み合わせまでしてきたらすぐ大きくなる。
0:45:21	剥げがあったんじゃないのかとか、そんな疑問も開いたりするんですよ。
0:45:28	そのあたりのところをですねちゃんと説明していただけたらなっていうふうに思うんですけど北海道電力として何かその辺の
0:45:37	派遣がかなり変わるんだっていうようなことについて、考察的なことは今回されてますか。
0:45:53	北海道電力の奥寺でございます。
0:45:57	逆転しているというのをその通りなんですけれども、
0:46:02	もともとこのパラメータスタディのT M A C C Sっていうのを決めた。
0:46:07	I Kというのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:09	時間がぴったり最大クルー%っていうことはなかなかないんじゃないかなど。ただし、パラメータスタディを複数やっていくための、
0:46:19	起点として何らかの目安を設定しないと結果が出てこないということで、当初、説明方針として一つのT M A C C Sを規程にと。
0:46:31	やっていったところでは、
0:46:35	Tマックスが算出できない一面、
0:46:38	他のを評価項目から複数、T B P M A C C Sに相当するものを取っていったとき、
0:46:46	起点が何個かできたことに対して、
0:46:50	間が空いてるようなところにも、もともとこのパラメータスタディはピークを探すために、
0:46:57	やっている和我々も認識しておりますので、
0:47:00	そこを埋めるような形で、きちんと棚のないように検討していったと。
0:47:06	いうところで、
0:47:08	結果通して、いろいろと、
0:47:11	逆転という現象はなかなか難しい現象で起きているんですけども、グラフ等にも示しました通り、
0:47:20	きちんと不自然な形でピークが抑えられているということではなくて、
0:47:28	検討の範囲の中できちんとピークが押さえられていると、例えば87ページなんかを見ていただくとは、
0:47:36	見ていただくとわかりますように、
0:47:39	検討時間範囲の中できちんとピークを抑えられたかなど。
0:47:44	思っておりますので、
0:47:47	P E E Kを探すという観点ではきちんとした検討ができていないかと、そのように考えてございます。
0:47:55	以上です。
0:47:59	はい規制庁タニです。
0:48:01	ですねちょっとその辺北海道電力としてどう考えてるのかって今の説明で、足りてるのかって言うのはわからないですけど、1回ちょっと、
0:48:11	説明してもらおうような、資料になったらなと思います。それって、ひよっとしたらの会合での論点になるのかもしれないなというふうに今思ってますので、
0:48:23	北海道電力としてこれで十分な検討なんだっていうのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:29	市、そそう有効意識であるんだったらそういった資料にさせていただけたらなと思うのと、あとちょっと
0:48:38	これは、その逆転逆転という言葉が合ってるのか、わかんないですけどその辺が変わったのって、やっぱりあれなんですか
0:48:47	何、8、8 ページ 9 ページでやってるやり方が変わったから、
0:48:52	こういったいろんなチャンピオン、いろんな評価地点でのチャンピオンケースが、
0:48:58	固化変わってきたんだよってということなんですこそ、この、ここの8、8 ページから9 ページに変えなければ、あんまりこういったこともなかったんですかねそもそも論として、
0:49:27	北海道電力、奥寺でございます。
0:49:30	ちょっと定性的な説明になってしまうんですけども、
0:49:34	8 ページから9 ページの方針に変えたというのは先ほど来、算出できない部分があるからというのをきっかけになってございますけれども、
0:49:43	8 ページから9 ページに変えたので、
0:49:47	ピークが変わったとか、複雑な現象が起きているのかというと、そうではないような気がしております何らかの形で8 ページの検討方針の中で、
0:49:59	進めていったときに、
0:50:03	こういった類の現象が起きてくる可能性はあるのかなと。
0:50:07	それーそういった現象も含めてきちんとP校を探していかないのといけないと仮に、
0:50:14	8 ページの方針でやっていったとしても探していかないといけないのかなと。
0:50:20	そのように、推測してございます。
0:50:24	8 から9 に変えたので、
0:50:27	このような現象が起きたとかそのようには今のところ考えてございません。
0:50:33	以上です。
0:50:36	丹規制庁タニそそういうことなんですか。
0:50:40	ちょっとねその辺が資料見ても、いまいち我々も分析しきれてなくて、
0:50:52	T M A C C S を変えたことと評価とどう関係するのかなっていうのを、
0:50:57	ちょっと資料上わかるようにさせていただけたらと思っているのと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:03	あとですねえ。
0:51:10	ちょっと何か分析をもうちょっとしてもらいたいなっていうのがあるっていうのが背景にあるんですけど、
0:51:16	これ、45 ページから 54 ページって、
0:51:24	これ健全地形の話を、
0:51:29	健全地形のときの、
0:51:33	なんていうんすかね。具体的な波源のこう、こうなったらここで重なりますよみたいな説明がされてるんだと思うんですけど、これって他の地形ケースでも、
0:51:44	その
0:51:46	個々の結果ってあるんですっけ。
0:52:04	北海道電力の青木です。
0:52:06	45 ページから、
0:52:09	5 時です。
0:52:12	55 ページにかけては、
0:52:15	スライドの左下のところに記載でという形で、健全地形モデルのケース①の波源を対象に分析した結果を今資料化してございます。
0:52:26	それ以外のケース②から⑩については今回資料化はしてないというところになってございます。
0:52:34	こちらの回答でよかったですでしょうか。以上です。
0:52:37	規制庁谷ですそういうことですねこれ健全地形のさらにケース 1 で、
0:52:43	を説明するだけでもこれだけボリュームがあるよっていう意味なんですね。
0:52:47	これがだからあれですか係数 20 何ぼまでこうあってっていうことなんですね。で、僕がちょっと確認したいなと思ったのは、
0:53:01	ピークがですね。
0:53:04	T M A C C S っていうのが、
0:53:06	日本海東縁部んで、どここの地点が T M A C C S の木の葉形の中です。
0:53:14	どこの地点が T M A C C S の位置で、陸上地すべりでは、この派遣のうちここが T M A C C S の位置になるんだっていうのがですね。
0:53:24	これを何か確認したいなって思っているんですけど、そういう見方は、今の資料ではできそうにないですか。
0:53:35	T M A C C S なんだ、大大南%のところに出てるのかとかですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:40	何かよくわからないんですよね。で、大南%のところの、こう上がってる途中に出てるのか、ピークに近いところで出てるのか。
0:53:49	阿曾そうでもないのかとかいうのがですね。
0:53:52	各
0:53:54	検討結果から見えてこなくて、
0:53:58	その辺をこう見えるようになってできないんですか。
0:54:17	少しお待ちください。
0:55:17	北海道電力奥寺です。
0:55:19	今おっしゃってる意図は、
0:55:24	東縁部のは系統。
0:55:26	ええ。
0:55:29	川白のは形が、いろんな場所において、
0:55:33	という、ピークの関係みたいなものがどうなってるかというところを確認したいというようなことをとりましたけれども、
0:55:43	その伊藤に、
0:55:45	対して、少し検討したいと思います。
0:55:49	綿Cが受け取ってる意図で合ってますでしょうか。
0:55:54	規制庁谷です。そうなんですちょっと結果としてね何かチャンピオンがさっきも言いましたように関わったりとかしててどういう現象なのかっていうのがいまいわからなくて、
0:56:05	sonだからどんどんナティーM A C C Sが、どこのはK-1なのかなっていうのをちょっと確認していきたいなっていうのがあります。これは多分、本編に書くようなことではなくて何かデータ集とかになるのかなと思うんですけど。
0:56:20	で、あとは、
0:56:22	T M A C C Sを出したときの線形足し合わせで、
0:56:26	何メーターの水位になってるのかとか、
0:56:29	秒数はちょっとできないのかもしれないですけど、線ができるのかな、線形足し合わせの結果がこうなってるのに対して、その一体計算ではこうなってるんだっていうその辺の関係がですね。
0:56:42	資料として見えるように、
0:56:44	していただけたらいいんですけどなっていう。
0:56:48	ちょっとこれは紙んなんていう結果が良い悪いとかじゃなくて、どんな

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:54	経緯でこう、この評価になってるのかっていうのを確認したいっていうこと言っています。
0:57:00	わかりますかね言ってること。
0:57:13	北海道電力奥寺でございます。おっしゃってることは理解できております。
0:57:22	ただ、
0:57:25	そういう分析をやっていくという、やった結果っていうのが出てくるんですけども、
0:57:33	なかなか、
0:57:37	今回の結果P E E Kを探してた結果から見ると、なかなか分析難しいのかなということと、
0:57:47	等ですけども、
0:57:50	組み合わせの時間範囲っていうのは、ある、地震が到達した継続時間の間、
0:57:59	こういったところの考え方で時間範囲っていうのを決めておりますので、
0:58:05	この間の範囲の検討を、今回提示していると。
0:58:11	というようなところですけども、
0:58:13	なかなか、
0:58:15	難しい内容かなというのが正直な受けとめです。以上です。
0:58:40	規制庁佐口ですけど。
0:58:43	ちょっとですね、
0:58:45	基本的なことっていうのか、根本的なことになるかもしれないんですけど、
0:58:50	まずちょっと1点教えていただきたいのは、
0:58:53	これはちょっと先の話になるんですけどね。当然入力津波って設定されるわけで、この入力津波って、例えばですよ。
0:59:02	今、防潮で前面であれば、
0:59:06	どういう形で、その入力、例えばその防潮てに対する入力津波ですね、っていうのを設定されるのか。
0:59:16	ていうのは、当然その膨張で前面っていうのはある範囲で設定をされていて、
0:59:22	御社はこれまでもそうでしたけどその中で、例えば最大となるような、
0:59:28	値、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:29	ていこうのをししてそれを影響の大きい波源として選んでいるんですけど、その値を傍聴て全部に、
0:59:37	入力津波として設定をするのか、それともあくまでも波源はそうなんだけれども、
0:59:43	実際に入力津波としてはその何ていうんすかね防潮てのちょうど
0:59:48	本当に入力をさせるような位置に来る津波のものを入力津波として設定するのか、ちょっとそこをまず教えてください。
1:00:06	北海道電力の小寺でございます。ちょっと確認なんですけど今の、
1:00:12	いただいた内容というのは、
1:00:16	防潮底の入力津波を設定するにあたって、
1:00:20	調停の延長方向にいろいろ変えたりする気があるのかないのかその考えを聞かせると、そういう質問だと受け取ってよろしいですか。
1:00:31	はい。規制庁サービスそういうようなことなんですけれども当然先行サイトだと。
1:00:37	例えば一つ、数値が、
1:00:39	データとしますね例えば 12 メーター、今敷地前面で最大の
1:00:44	基準津波となるような基準津波になるかどうかわかんないんですけど、
1:00:50	その影響の大きい波源として、
1:00:52	水位上昇が例えば 10 メーターで出たときに、その 10 メーターというものを、この防潮てすべてに対して、
1:01:01	適用させるのか、それともその部分部分場所場所によって変えるのかってそそういうちょっと、
1:01:09	ことをお聞きしたかったんですけど。
1:01:11	北海道電力の奥寺でございます。それは前者の方で考えてます。代表的な影響の大きい波源ということで全体から選んだものに対して、
1:01:22	添 0 の波源表入力津波を設定したのに対して、延長方向全体に対して評価を行っていきたいと考えてございます。
1:01:30	今の考えは以上です。
1:01:33	はい規制庁、佐口ですわかりましたそれが一番聞きたかったことで、よくわかりました。それ一であればということもあるんですけど、ちょっとそこで、
1:01:45	確認させていただきたいのは、
1:01:48	今回ですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:50	9 ページ以降で、能勢設定とかをこうしますよとか 8 ページとかですか。
1:01:57	てあるんですけど、
1:01:58	で、
1:01:59	例えば、例えばっていうより
1:02:02	まず 1 点目確認したいのは、
1:02:05	この算出できない、特にその膨張て前面のところなんですけど、算出できない。
1:02:13	ケースなのか、モデルなのかわかんないんですけど、
1:02:16	ていうのは、
1:02:18	今は、1 例として地形モデル③だけを、
1:02:23	この 8 ページとかで示されているんですけど、これ、例えば地形モデル④とかあまり読んでなかった、①とか②とか健全地形モデルの場合で、
1:02:34	算出できないっていうケースも、
1:02:37	たくさんあるっていうことなんですかね。
1:02:43	北海道電力のアオキですと T M A C C S の一覧についてはページ番号で言いますと、56 ページから、
1:02:53	59 ページの 4 ページにかけて、地形モデルごとにそれぞれ掲載しております。
1:02:59	このちい
1:03:01	方中の膨張て全面上昇側のところにそれぞれ算出できないとか、具体的な数字書いてあるものありまして、
1:03:09	このうち、
1:03:11	ケース①から④については日本海東縁部の地点で算出できない、57 というと、
1:03:17	はてな損傷高齢者地形モデル①だと、両方算出できないと、こういった形で、
1:03:23	整理してございます。
1:03:25	以上です。
1:03:27	はい。規制庁佐口です。わかりました。なのでこれを見ていけば、どっちの、各ケースで、どっちがその算出できないかってあるん。
1:03:37	ていうのはわかるっていうことだと今理解しましたけど。ちなみに、この
1:03:44	算出できないってというのが、例えば 58 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:49	とかだと、
1:03:50	日本海東縁部は算出できないんだけど、頭の方は算出できるっていう場合に、
1:03:58	このまま行って例えばどっちかを取ったりするんですかね。
1:04:07	すいません。それとも、これはモード、どちらか一つがもう算出できなければ、
1:04:12	これは算出できないとして、他のケースで算出両方とも算出できるようなケースを選定するのかってちょっとそこを教えてください。
1:04:28	北海道電力の奥寺でございます
1:04:31	8 ページ 9 ページに戻るんですけども、
1:04:34	こういった場合が 8 ページのような場合が出てきた後、例で示しておりますけどこういった場合にどうするかっていうことで、9 ページのような対応をしていった。
1:04:47	また、値がばらついて、A T M A C C S 1 と 2 の間が大分、
1:04:53	秒数があくというようなところは、穴埋めしていくと。
1:04:57	というような大きな方針のもと、全体に展開していったというのが、
1:05:04	56 ページから、
1:05:06	50、
1:05:07	9 ページに示した内容でございます。以上です。
1:05:15	はい。規制庁佐口です。そうしますとちょっと一番最初の確認にも戻るんですけども、
1:05:22	結局、
1:05:24	今問題になってるのはこの敷地、敷地とか防波堤前面の水位の算出のところなんですけれども、
1:05:32	当然この防波堤前面っていうのはある。
1:05:37	簡易ですね。
1:05:38	範囲に、要は面による範囲ということで、その中でですね。
1:05:44	例えば、日本海東縁部の最大を示す地点じゃなくって、
1:05:51	算出できそうな場所で、かつ、
1:05:55	川白の陸上を地すべりもう最大発生地点じゃないんだけど当然算出できそうな、
1:06:03	ところがあって、組み合わせた結果ですよ。
1:06:06	それが、
1:06:09	今日お示しいただいた 100、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:13	41 ページ、この、例えば評価値を超えるようなことがあるのかないのかって、
1:06:19	そういう、
1:06:20	ことって確認をされています。
1:06:28	線形足し合わせを超えるかどうかって聞ってる。
1:06:32	じゃどこだって、基本的に氏原まで網羅的にやってるとあとバックはないです。
1:06:38	北海道電力の奥寺でございます。
1:06:43	同一波動場での検討結果というのは、結果してほぼほぼ網羅的な時間の範囲の中で網羅的な検討をやっているんで、
1:06:54	そのピークを超えるような結果が出てくると考えていません。以上です。
1:07:02	はい。規制庁佐口です。なので、基本的には
1:07:06	傍聴て前面の範囲については、その中で最大のものが、
1:07:12	組み合わせた結果ですね、これ単体じゃないですよ。
1:07:16	日本海東縁部だけとか、地すべりだけじゃなくて、組み合わせた結果、
1:07:22	この範囲の中で最大を示すものが示されているってちゃんと網羅的に調べられて示されているって考えてよろしいってことですね。
1:07:33	北海道電力奥寺でございます。その通りの理解でよろしいかと思ます。我々はそのように考えてます。
1:07:41	はい、規制庁昨日わかりました。ちなみに先ほど谷がちらっと言いましたけど、
1:07:46	じゃあですよ。
1:07:48	じゃあ何なんですよ。もちろんその
1:07:51	最大となるようなところ、
1:07:55	ていうのはお互い最大となるようなところっていうのは当然重なるに合わないのかもしれないんですけども、138 ページで、例えばですよ。
1:08:05	例えば、
1:08:07	一番上のところで 10 メーターとか 11 メーター出てますね地形モデル①の例えば、
1:08:15	だったら、敷地はごめんなさい包丁て前面 11 メーターぐらいで出ていて、
1:08:21	次の
1:08:22	川白の最大ケースを見ると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:25	同じようなところで7.21メートルって出てるんですけども、これは当然その最大値を示すところのその位置がまあ若干こう、当然違うんで、
1:08:36	なので、すごく単純に計算したら、
1:08:40	何か18メートルぐらいになるんじゃないの。
1:08:42	見る人も、例えば出てくると思うんですけど、そこは場所なんかが違うたりして、かつ先ほどの範囲の中でちゃんと網羅的に一番、
1:08:53	高くなるようなものが選ばれているのでその結果としては、13メートルとか14メートルぐらい。
1:09:00	でしたっけ。
1:09:03	うん。136ページですね14メートルぐらいになるんだけどそこはちゃんと選ばれてますという、
1:09:10	御説明がちゃんと今の資料でわかるかどうかなんですけど。
1:09:16	特にそのもう網羅的にちゃんと範囲内で組み合わせたものの中で最大のもの。
1:09:22	が選ばれてますよっていうのはどこを見たらわかりそうですか。
1:09:36	北海道電力の奥寺でございます。
1:09:40	線形足し合わせっていうのは、あくまでも、
1:09:44	P E E K探しのための同一波動場での検討の規定を、
1:09:49	探す目安だと思っております。実際に組み合わせた、
1:09:55	その結果というのは、
1:09:57	線形の方程式で解いているわけではないので今回、
1:10:03	出てきた結果、結果して、
1:10:07	検討時間の範囲で網羅的にやっているところでピークを探してますので、
1:10:14	最大値を押さえているとは考えているんですけども、
1:10:18	土工でそれがわかるかという、
1:10:21	検討結果というところで例えば87ページとかをご覧いただければと思うんですけども、
1:10:29	この組み合わせの時間差の範囲の中で、
1:10:32	最大が探されているという、こういうピークが出ているというところから、きちんと検討がなされているということはいえるのではないかなと考えてございます。
1:10:43	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:46	やってるってということで、規制庁佐口です。ちなみにこの 87 ページで、私も聞きたかったんですこれは転倒してのデータでよろしいんですよ。違います。
1:10:56	点じゃなくて。はい。ですね。
1:11:00	今答えて、
1:11:02	北海道電力の青木ですと 87 ページの一番左上、防潮て前面上昇側のケース⑧、
1:11:11	ケース 8 以外もそうなんですがこの範囲について一番最大になる結果を用いております。
1:11:18	と具体的に 14.11 だと。
1:11:21	その水位分布図を示したものが、
1:11:28	失礼しました。
1:11:29	随分、
1:11:31	水分物示したものが、
1:11:43	125 ページの、
1:11:49	一番左側のものでこちらの位置で最大値の 14.11 でございます。ちょっと地形とかケース変わってしまうんですが、129 ページ。
1:12:01	とかですと、
1:12:03	一番左側に包丁て前面の最大ケースで地形モデル②だと。
1:12:08	この 1、
1:12:09	D13.5 の最大値でいってもこの防潮庭で示した範囲のうち最大値を同一波動場の結果では取りまとめております。以上です。
1:12:20	はい。規制庁佐口ですありがとうございます。まさにですねそういうことが実は必要で、なんかですね
1:12:27	全体の流れとして、いろいろデータはあるんですけども、いろいろな、何て言うんですかね、ピンポイントんポイントポイントを押さえたような、
1:12:38	流れになっていなくてまさに、
1:12:43	私が少なくとも欲しかったのは、今のこういった分布図で、ちゃんとこのケースの組み合わせはこういう分布をしていて、このうち、その最大のところはここに出ていますんでその水は幾つなんですという、まさにそういう説明を、
1:13:00	全体を通して、それは、どういうものをその最大なものとして選ぶかと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:07	いうところの説明から含めてですねちょっと、
1:13:11	流れが非常になんかわかりづらかったんですね私的には、でも一応、そうやって、
1:13:20	ちゃんと網羅的にされている。
1:13:22	ていう観点で見れば今ご説明あったように、
1:13:25	何か材料としてはあるかなとは、確かに思ったんですけど。
1:13:29	何かちょっと、もう少しですね。
1:13:35	わかりやすく、
1:13:37	工夫して、
1:13:38	いただきたいなってというのがちょっと私ごめんなさい感想みたいになってしまいましたけど、一応
1:13:44	材料としてはあるってことは確認はできましたんで、
1:13:47	はいちょっと以上です。
1:13:56	規制庁谷ですけど。
1:13:59	ちょっと
1:14:01	今の説明で僕もちょっと確認したかったんですけど、結局、網羅的にこう時間やったっていうのは、T M A C C Sとあんまり関係なくって、
1:14:12	もう何て言うんですかね、組み合わせ時間入ってこ書かれてるような、
1:14:18	時間範囲はもう全部5秒ピッチで検討してっただってことなんですよね。そういうことでいいんですかね。
1:14:29	北海道電力の奥寺でございます。のべつ幕なくやっていったということではなく、
1:14:35	検討方針に、冒頭で示しました通り、
1:14:42	11 ページとかに検討方針変更を示しましたけれども、
1:14:47	あるT M A C C Sを起点に、
1:14:50	こういったルールの中でピークを、
1:14:53	探すということを目的としてやっていった結果、
1:14:57	こういうピークを抑えることができたというのは、我々のやったことの正しい表現かと思います。
1:15:05	あくまでt M A C C Sをベースに物事の検討を進めていった結果が今出ている。
1:15:11	例えば、
1:15:12	70 ページ以降に示している結果と、最初からちゃんとやってた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:17	全部やったとかそういう話ではないです。以上です。結果的に網羅されて、されたようなピークを抑えることができていることを、
1:15:28	お示し示しているということです。
1:15:31	以上です。
1:15:32	はい。谷です確認の仕方悪かったかもしれないですね。思想としてはそんな感じなんだけど例えば9ページでね。
1:15:40	ケース14だったら、
1:15:43	結果として確認細胞をこうピークがとらえられているか確認するっていう作業の中で、23秒から134秒まで、これ5秒ピッチでも全全部データ取っていった。
1:15:55	最終的には、ケース15だったら23秒から136秒まで、
1:16:00	全部見ていった。
1:16:01	例えば、ケース15だったら、TMACCS自体は23秒だとか43、42秒だとかその辺ぐらいにしか、固まってないんだけど、一応それをこうなんか分析するために136秒まで、
1:16:15	見たんだよっていうそうそういう説明なんですかね。
1:16:18	結果は見てるんですよ。
1:16:26	と北海道電力の青木です。
1:16:29	衛藤ケース14などは、TsからTsTVが23秒と134秒。
1:16:36	という範囲の中で、リーマックス出したところ、23秒134秒の上端と下端が出てきたのでその間については5秒ピッチでやるという方針に整理しております。
1:16:47	一方ケース⑩号なんかは23秒とか42秒というところで、どちらかというところ、片側の23秒付近で出ているというところになってます。
1:16:58	これについては、検討方針で言うところの、
1:17:02	12ページ。
1:17:05	お願いします。
1:17:10	こちらTMACCSが23秒と42秒で出てきてそれ以外の外挿する範囲のところについては、
1:17:19	この緑書きで書いておりますTnという。
1:17:22	衛藤PEEKを確認できるまでパラサの範囲を拡大するという位置付けでやっております。
1:17:27	そちらの結果がわかるものが、
1:17:31	104ページですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:38	当庫チラー赤字と王子等、緑字でそれぞれ組み合わせの時間差書いてお りましてT M A C C Sの対象だと、赤字のケース、この間については王 子、
1:17:49	あとP M A C C Sの±10秒以内は青字であるという位置付けで、そこか ら膨張て全面上昇側についてはP E E Kは、
1:17:59	その下に行くに従って時間差を大きくするに従って、どんどん水位が上 がっていくっていう傾向が見えてきたのでここは、それに着目して、緑 書きの計算位置付けでピークを探すためにパラスターをやったと。
1:18:11	いうところの説明になります。
1:18:14	ちょっとすいません。防潮て前面上昇側ではなくて3号取水口の加古川 に着目していくと、どんどん時間差を大きくすると、上がっていくとい う傾向があったのでパラスタをやったというところになります。以上で す。うん。
1:18:27	はい。で、結果、結果ですよ。
1:18:32	結果、
1:18:33	こんなやってる量数で位置付けがちょっと違うっていうことが、今の 104ページで色をつけて位置付けが違うんですよっていう説明されてる と思うんですけど。
1:18:47	結果、これ、
1:18:50	9ページで書いてるような組み合わせ時間範囲ってというのは、
1:18:54	全部やってるんですか。
1:18:57	やってないところとかは、
1:19:00	あるんですかっていうのを知りたいんですけど。
1:19:05	瀬口さんが、
1:19:07	北海道電力奥寺でございます。
1:19:11	ですね、表現が難しいんですけども、ルールは、今、
1:19:17	青木が説明した通りに機械的にピークを探しに行くということをやっ ておりますけれども、
1:19:25	結果して、ほぼ大体網羅的にパラスターをやってるんですけども一 部、ピークが抑えられたのでやっていない部分もございます。
1:19:35	正確に言いますとそういう感じになります。以上です。
1:19:39	規制庁谷です。わかりました網羅的になっていうのは、
1:19:44	そっか、網羅的と言いつつ実はちょっとやってないところも明らかなピ ークとかが取れたらもうやっていないってことですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:51	はい、わかりました何かちょっとその辺の説明が、
1:19:55	よくわかんなかったんで聞いたんですけど。
1:19:59	かなり
1:20:01	何かこのT M A C C Sにこうとらえとらわれてこう見てしまうと、あれなんですけどもとにかくこの波源選ばれてるのはかなりの時間範囲でやってるっていうのが、何か資料見てたらわかるんでその辺
1:20:17	わかるように、説明していただけたらなというふうに思いました。
1:20:23	ですね、あとは、
1:20:27	ちょっと継続時間、
1:20:29	ていうのが、やっぱり、
1:20:32	結構ピークがちゃんと間に入ってる波源も多いんですけど、中にはその継続時間が、
1:20:39	端端の方、要するに最大のT T S + + T Dのあたりがピークになってるような波源も幾つか、
1:20:50	あったと思うんですけども、これって、T野田の振幅包絡線で時間出しましたよっていうのが、
1:20:59	どっかにあって、何か各波源で、等価震源距離とか、地震波速度だとか、細かいてるのは、
1:21:08	例えば40ページだとかであるのわかったんだけど、
1:21:12	これマグニチュードっていうのはこのなんぼでやってるんですけど。
1:21:25	北海道電力の奥寺でございます。
1:21:28	等価震源距離を算出するときに、
1:21:33	はい。
1:21:35	すみません。
1:21:37	4、39ページの、
1:21:40	P Dを算出するときに、マグニチュードを使用しているんですけどちょっとこうにマグニチュードとの関係ってのは明示的には書いていない状況です。以上です。
1:21:54	はい、えっと、今答えたら、ここで各波源で変わるんですけどマグニチュードか。
1:22:11	北海道電力奥寺でございます。
1:22:13	傾斜角が異なると、マグニチュード若干変わってくるかなと。
1:22:20	今でもそういう。
1:22:22	ちょっと変わってもらえる。すみません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:25	北海道電力の青木です。マグニチュードについては、41 ページのケース⑥、
1:22:33	この断層パターン1 というものについては傾斜角が 60° のものなので、他のケースは全部傾斜角 30° で、ケース 6 だけ 60° なのでここだけマグニチュード。
1:22:45	違う値を用いています。
1:22:48	藤ほかのケースでは傾斜角 30° をもとに算出したマグニチュードを用いています。
1:22:54	それで回答になってますでしょうか以上です。わかりました。その辺だから、30° のケースはマグニチュード何ぼ使って 60° のケースは何ぼ使ってるって書いて書いたらまあわかるのかなと思いました。
1:23:07	ですね。
1:23:08	これ、
1:23:11	あとはもう考え方なんですけど、本当これ等価震源距離で委員会っていうのをちょっと感じたりもしてて、
1:23:18	要するに
1:23:20	かなり高止まりの場合敷地の近くから遠いところまで 370320 キロでしたっけ 350 キロでしたっけ、東縁部を張ってるわけですよ。
1:23:33	それって遠くのところからの、
1:23:36	震源になったらもっと時間かかるんじゃないのかなとか、何かそういう
1:23:42	どうどこまで割り切るのかなっていうのもあるんですけど、
1:23:46	そういった時間の不確かさとかそういうものは北海道電力としては必要ないってことなんですかね何かその辺何かもし考えがあったら、
1:23:57	今言ってもらえたらと思うんですけど。
1:24:02	北海道電力の奥寺でございます。こちらのやり方、各サイト、一緒に例えば、規模が 320 キロ内使ってますけれども、そのレベルの
1:24:15	検討の中でも同じようなやり方をしているのではないかと。
1:24:19	認識しております。時間の範囲というのはこのやり方で決めてやっておりますけれども、
1:24:26	その不確かさという観点で言いますと、今回応援分の検討自体が相当な不確かさを持った、
1:24:35	パラメータスタディを実施していると考えておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:39	モデルルーの設計自体のところ、保守的な検討になっていると考えてございます。タカハシらについても一括で包絡させていると、というようなところで保守性を持ってございますので、
1:24:52	それを組み合わせるということ自体に、
1:24:55	保守性があるのと
1:24:58	これまでやってきた先行サイトでやってきたやり方と同一のやり方だなどと考えてございます以上です。
1:25:07	はい規制庁タニすまドイツのやり方だからいいんだっていう、そういう説明でいいのかちょっと、ここで答えられないですけど。
1:25:18	もともと 320 キロが保守的だからっていうことでいいですかね。
1:25:25	320 キロって保守的だから 320 キロでしてるっていう位置付けで、
1:25:30	そう考えてるってことでいいですか。
1:25:39	北海道電力オクデラで 320 キロが保守的だからいいということではなくて、320 キロというような波源設定の段階から、
1:25:50	いろいろな不確実性とか干渉を、を考えながら検討を、もちろん地すべりの話もそうですけれども、検討を行ってきておりますということを、
1:26:02	全体的な話として、高田だけですけれども、
1:26:06	320 キロだから、
1:26:08	いいんだとかそういう意味合いで、そう聞こえてしまったら誤解なんですけれども。
1:26:14	はい。以上です。
1:26:17	はい。規制庁谷です。はい。お考えは確認できましたのでちょっと。
1:26:23	資料今後確認していきます。
1:26:57	規制庁タニですけど、
1:27:01	えっとですねちょっと資料なんですけれども、やっぱり何か今、いろいろ確認しながら、
1:27:08	ちょっと資料読んだときよりは、ちょっとわかってるわかってきたっていうところあるんですけど、何かですね、全体の方針というか、全体この検討の流れですね。
1:27:21	その辺がちょっと、
1:27:24	わかりにくいな、こうやってやってるっていう結果は、いろいろこうまだあるのはわかるんですけど、
1:27:32	何かどういう順序でどういう考えでこういった検討をしているのか。
1:27:38	ていうのがですね、ちょっと何かもうちょっと概要のところにも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:43	なんかわかりやすいような説明をしてもらったんで、それで、それはここに書いてありますよっていうようなのがちょっと欲しいなと思うんですけど、その辺検討いただけないですか。
1:27:57	北海道電力奥寺でございます。ス系ほど来議論になってるところが、私なりに今やりとりしてて思ったのが、
1:28:05	TMACCSの考え方がわかりづらいとかですね。
1:28:11	例えば、傍聴で前面の検討結果というのが、てんでとってるのかどこでとってんの画面で通ってるのかとか、
1:28:20	どういふをせいと考えているのかとは、私が、
1:28:24	今やりとりさせていただいたような、
1:28:27	しゃべったようなところがわかりづらいというようなふうにとめております。そのあたりを、
1:28:34	もう少し資料を、
1:28:37	わかりやすくするという観点に検討したいと思います。
1:28:43	以上です。
1:28:44	はい規制庁単位です。ぜひですねちょっと細かいいろんな検討されてるっていうことは、何か資料見てたら、あるんで、何か。
1:28:54	音組み合わせの時間もすごい高ピッチでたくさん取ってたりとか、せっかくいろいろやられてるんでその辺の流れがわかるようにしていただけたら、
1:29:04	助かります。
1:29:06	そうですね。あと私の方紙資料読んでてすごくわかりにくいなと思ったのが、
1:29:12	例えば、
1:29:13	5 ページで、
1:29:16	音ケースが1 から 001 から 2、⑳まで。
1:29:22	係数、これだけあるんだよって言ってやってるんだけど、
1:29:26	実はそのケースって言うのは北電の言うてるケースっていうのは、検討ケースっていう言い方がいいんですかねその波源のケースと、そのうち県モデルのケースっていうのを組み合わせたものが、
1:29:37	20 個あって、実は波源自体は、この波源とこの波源一緒っていうのがすごくたくさんあるんですよ。例えば、ケース 0 一井。
1:29:49	ていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:51	ケース⑤だとか⑩だとかと一緒にだし、波源をですよ、ケース 2 は 0 ん⑦⑪⑰と一緒にだし、とか言って、
1:30:01	その
1:30:02	は、
1:30:03	は、ぜひこの波源としては県がまるでこうなんか 20、
1:30:08	パターンあるみたいな
1:30:10	印象じゃないと御印象に取られないように波源としては、どんな種類があるのかっていうのが識別できるように、何かしていただけたらなと思うんですね。
1:30:21	これ、多分これ全部読まないで、この波源ってこの波源と一緒になんだったというのがわからないですね。
1:30:29	私たちはこれを見ててですね。
1:30:32	んなので、何か、地形の説明と、波源のケースっていうのを、何かうまく書き分けられないもんですかねっていうのを、それぜひ工夫して欲しくて、
1:30:44	D層、
1:30:47	それ、その地形と必ずセットで、この波源なんだったって言ってもらった方がいいかなと思うんですけど、どうですかね。
1:31:33	当北海道電力の青木です。
1:31:36	ちょっと、当社の説明したいところというところで補足させていただきますと 5 ページのところ、
1:31:43	こちら健全地形モデルについてはケース①から④、防波堤の損傷を考慮した地形モデルでは①か、とけ。
1:31:51	小疇の所考慮した地形まで①だと、ケース⑤から⑨という形で設定しております。ここでケース①とケース⑤について断層パラメータの諸元見てくるとこれ全く一緒のものでご指摘の通りです。
1:32:06	ですが一方後段の T M A C C S とか算出して食う。
1:32:10	段階にあたってはこの地形モデルが異なってくると、T M A C C S が出てくる結果とか、相談の後ろ側の結果が全部変わってくるので意図的にこの
1:32:20	変更方向、
1:32:22	波源としては一緒なんですけれども、
1:32:24	ケースの扱いとして別ケースというもので今回整理したものです。
1:32:28	一方、138 ページのところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:32:37	こちらの5ページで書いてるものと、記載のフォーマットが違うだけだよ。
1:32:43	1日本海東縁部の最大ケースを示してるっていうところについては同じになってまして、このうち市書きで書いてるところについては、健全地形モデルと異なる断層パラメータを志垣で明示したりして、
1:32:56	横方向での違いってのを明確化してございます。
1:33:01	ちょっと、当社からの補足については以上です。
1:33:08	はい規制庁タニです。つまり138ページを見れば、これが123。
1:33:15	4号、なんか、1010ケースぐらいなんすかね。
1:33:19	になってくるのがわかるだろうっていう説明ですかね。
1:33:23	何か、
1:33:26	多分ですねえ、わかりにくいんですよ。そういった説明もあるんだけど何か波源に番号付けちゃ駄目なんですか波源ケース1ケース何とかってというのは残しとく。
1:33:38	としては現ケースとしてはなんぼなんだとか。
1:33:41	ちょっと僕の方としては何か識別しながら、
1:33:48	みたいな、
1:33:49	ていうのがあって、
1:33:52	結局最後のほら、
1:33:54	最後の136ページであって、
1:33:58	最大径須田出してるんだけど、これは元として同じものが、いや、組み合わせが違うのはわかるんですよ。
1:34:05	組み合わせが違うのがあるのはわかるんだけど、派遣としてどれとどれが一緒なんですかってというのがですね。
1:34:12	そこはちょっとわかるようにしてもらえたらなって思うんですね。そのやり方は多分いろいろあると思うんで、さっきの、
1:34:21	何ページだったかな、さっきの何ページかで、このE L O C A 138ページで色を変えてますよっていうので、
1:34:31	してもいいんですけども、結局何何個、どんな種類のものが選ばれているのかってというのがわかるようにしてくださいということで、
1:34:41	できればでいいんでお願いします。
1:34:57	北海道電力奥寺でございます。
1:35:01	係数はケースなんですけれども、
1:35:04	波源がどんな種類あるんだっていうところがわかりづらいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:09	ていうような
1:35:12	事実確認結果と受けとめましたので、その波源の種類が、
1:35:16	わかるように、
1:35:18	何種類、こういう種類のものがあるというのがわかるようにわかりやすくなるように、
1:35:25	検討したいと思います。
1:35:28	よろしいでしょうか。
1:35:30	規制庁タニさんあんまりこうすごい手間をかけるようなことは求めてないんですけど、わかるようにしていただけたらと思います。
1:35:39	あとはですねえ。
1:35:43	175 ページで、
1:35:48	これ参考資料なのであんまりこう、
1:35:50	あくまで聞くつもりはないんですけど、この二つ目の丸で、市への説明の黄色四角のところ、
1:35:58	これはここの基準津波を追加しますという話をしておきながら、基準津波を対象に入力津波を設定し、これ入力津波を普通に設定しますよねと。
1:36:11	上記が津波侵入経路とならないことを説明するっていうの、これなんか、今んところ何か方針みたいなのはあるんですか具体的にこう、これぐらいの標高差があったらこうならないんだとか。
1:36:26	それはこっちの話じゃないのかな、基準津波の話じゃないのかな。
1:36:30	何かもし、その辺の考えがあったら、
1:36:33	もし聞いときたいなと思ったんですけども。
1:36:40	北海道電力の奥寺でございます。
1:36:44	こっち側で審議いただく内容としては、基準津波をどうするかっていうところまでだと我々としては認識しておりますけれども、
1:36:56	例えば包丁で前面のように一旦、
1:37:00	ああいうところで最大の波源を探すというようなことと、
1:37:05	同様なことを、
1:37:08	例えば取水口前面でどうなんだとか、ああいったことと同様なことを、
1:37:15	例えばc h a n c e 10 行トンネルなり、
1:37:19	S A トンネルなりに適用して、
1:37:23	最大の波源を見つけた上で、
1:37:27	その波源を用いてトンネルの中をどのぐらいまで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:33	入力津波として考えなきゃいけないのかという後段の作業を、プラント側の審査の範囲かと思えますけどもやっていこうかと、そういうような意図で書いてございます。以上です。ちなみに、
1:37:46	異常と言いましたけれども、大体の
1:37:49	遡上のレベル感としては参考で178ページにつけさせていただいてますけれども、
1:37:57	茶津入構トンネルの入口あたりで言いますとこれコンターでざっと言いますけれども、
1:38:03	大体遡上高が、
1:38:06	11、10、12、
1:38:12	5メートルぐらいでしょうかね。
1:38:15	あと、明かり区間の出入口と呼ばれているところは、
1:38:20	13ぐらいまでいってるのか、あとアクセスルートトンネル入口で言いますと、
1:38:29	これは10.5メートルぐらいなのかなと、基準津波の遡上高のレベルで言いますとそのぐらいの
1:38:37	レベルの津波なのかなと考えてございます。
1:38:39	以上です。
1:38:45	板井です。相手に説明していただいて、はい。
1:38:49	説明を終わりました。
1:38:54	これも参考資料なんだけれども、あれなのかな。
1:38:58	ここを評価地点にするっていう、
1:39:03	その市長はあれですよそれは今後のでいいんですよ。
1:39:08	北海道電力の奥寺でございます。金8月5日の審査会合で、
1:39:16	いただいたコメントの内容になるかと思えますけども、今後の検討と。
1:39:22	検討内容工程について現在検討中です。
1:39:26	以上です。
1:39:31	規制庁の規制庁の名倉です。
1:39:33	これ指摘する時にちょっと、ちゃんと言ってなかったんですけど、
1:39:39	車道入庫トンネルの入口、ワー、
1:39:45	敷地外から敷地内、
1:39:49	への浸水経路ではないのでそういう意味では、
1:39:53	評価点として加えるべきものは、すいませんこちらのして聞いが三つ書いてあるから三つ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:00	評価点加えるって書いてるんだけど、
1:40:03	明かり区間の出入口とアクセスルートのトンネルの入口が評価点で、
1:40:09	IIトンネルの、
1:40:12	入庫トンネルの最初の入口のところは、津波の侵入経路にならないのでここは評価点として、
1:40:19	選定する必要がないのであればそう書いていただいて構いません。
1:40:24	それから阿藤。
1:40:26	この検討方針がちょっとう。
1:40:29	オーバースペックに見えるのはなぜかっていうと、
1:40:33	基準津波に追加する。
1:40:36	とか入力津波を設定して書いてるんだけど、私たち別にそこまで求めていなくて、
1:40:43	今のところは、
1:40:44	評価点。
1:40:47	は加えてもらって津波シミュレーションを実施して、
1:40:52	津波評価への影響を見るということであって、
1:40:58	基準津波の波源の選定の可否を、
1:41:04	検討するという今段階かなと思ったんですが、
1:41:08	そういう意味で基準津波を追加するとか、
1:41:12	入力津波を設定していう、いうところまで、書かなくてもいいんじゃないかなって思ったんですけどね。
1:41:20	いかがでしょうか。
1:41:44	北海道電力の奥寺でございます。
1:41:48	我々としても、
1:41:51	どのぐらいの影響が具体的に出るかというところは今言及できないところですけども、
1:41:58	これまでの検討結果から大幅に変わるような結果になってくると思っておらないところなので、今の事実確認結果を踏まえて、
1:42:10	ここら辺の表現、或いは検討の、
1:42:14	濃度というところを検討したいと思います。
1:42:18	以上です。
1:42:24	はい。規制庁タニなんですけど、これって、参考資料というのがよくわかからないですけどこれ会合で、こういった説明して何かこう、検討方針までご議論したいっていうような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:35	そういう意図なんですかそれってまだ、設計方針みたいなのが固まらないと我々も何とも、
1:42:43	言えないようなところですよ。
1:42:45	北海道電力としてこれ、
1:42:50	コメント回答なんですかこれ、これは。
1:42:54	ちょっと確認させてください。
1:42:59	北海道電力奥寺でございます。参考資料に落としたというところで、このぐらいの、
1:43:06	津波のレベル感ですよということを参考までにお示ししたということでコメント回答だとは考えてございません。以上です。
1:43:19	ちょっと検討方針って言われると何か我々もこれなんか今回コメントしなきゃいけないのかなとか、ちょっと何か、
1:43:27	この位置付けがとてもわかりにくい。
1:43:31	ていうところですね。
1:43:34	あと、ちなみにで聞くとこれ、ここも何かあれなんですか。
1:43:39	評価するにあたって損傷ケースみたいなのも考えていくんですかその地形ケースっていうのは、
1:44:08	北海道電力の奥寺でございますここに書いた内容というのは、敷地前面等でやっていた地形モデル等も、と同じようなやり方。
1:44:19	をやっていく、仕様で書いて、
1:44:23	記載してございました。
1:44:25	以上です。
1:44:33	すいません北海道電力奥寺です。
1:44:37	この内容は非常にわかりづらいというようなご指摘等ございましたので、内容を、
1:44:44	削除する方向で検討したいと思います。以上です。
1:44:50	規制庁の名倉です。ちょっと削除する前に1回ちょっと聞いておきたかったのは178ページのこの、
1:44:58	最大水位上昇量分布っていうのは、
1:45:02	基準津波16としている。
1:45:06	これあれですかね、地震、
1:45:09	要は日本海東縁部の地震による津波等、
1:45:16	地すべり、
1:45:19	もう組み合わせたこれ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:22	ケースの水位分布ということでしょうか。
1:45:29	北海道電力奥寺でございますその通りでございます。
1:45:35	名倉です。
1:45:37	これはあくまでもあれですね。
1:45:40	基準津波 16 って書いてあるから、
1:45:43	他のところの地点の、
1:45:45	もう念頭に、
1:45:49	重ね合わせをしたものなので、
1:45:52	今回の評価地点の、
1:45:56	ところが最大になるように組み合わせたわけではないんだけど、オーダー感として示したってことだけで、
1:46:04	という理解でよろしいですね。
1:46:11	はい。北海道電力奥寺でございます。141 ページの、
1:46:17	ちょっと基準津波という言葉は、適切ではないのですけれども、
1:46:22	このような検討をやった中で、
1:46:25	今、
1:46:27	178 ページの地点に着目したときに、最大レベルのこの、この
1:46:34	141 ページの範囲で最大レベルのもののオーダー感を出すために、
1:46:39	示したものでございます。以上です。
1:47:17	すいません規制庁鈴木ですけど、一応今 178 ページは、この 141 ページである。
1:47:25	中出。
1:47:26	一番組み合わせもやった結果後は単独のものがでかいものも拾った結果、その中でインクつあるんだこれ全部で 26 個あって 20 億あるうち、
1:47:38	このアクセスルートトンネル入口付近と、かび区間出入口ちやず入港トンネル入口付近の 3 ヶ所に一番影響がありそうなものを取りあえず選ぶ等、
1:47:50	基準津波No.16 と言われるものになりますってそういうことですよこれ。
1:47:58	北海道電力奥寺でございます。
1:48:01	はい。おっしゃった通り、このぐらいの、最大でこのぐらいのオーダー感だというものを示したところですよ元検討範囲で、以上です。はい。なんて、多分これで敷地の西橋っていうか某防潮てのさらに西側っていうんです北川っていうのかな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:19	アクセスルートトンネルとかチャージ入庫トンネル側、こちら側で高くなりそうなものを今後、
1:48:26	検討していくとこれよりはもう上がるのかもしれませんが今のところを掴みとしてはこんなもんですと。
1:48:34	そういうことですね。はい。
1:48:46	規制庁谷です。わたしさっき基準津波の方針までこうなんかちょっと入れてくれたらなんていう方針っていうのはこの値とかを出すんじゃなくてっていう話をちらっとしたんですけど、
1:49:00	今 141 ページとか、これ議論するつもりはないですけど、
1:49:05	見る限りは北海道電力としても何かこれ全部のケースで全部の評価地点でチャンピオンなるようなやつを拾わなきゃいけないっていうのが今の考え方費拾わなければ、
1:49:17	その後段の何て言うんですかね対津波設計とかで、
1:49:21	うまく説明できないからもう全部拾うんだっていうことなんです。
1:49:26	かなり今の方針としては、何か私前のずっと前の会合で、
1:49:32	何か基準津波に選ぶときにはどういうふうに代表させるなどの考え方があるんだったらそういったこと、
1:49:42	考えて考えていいんじゃないのかっていうようなことを言ったのはあると思うんですけども、やっぱりこれは北海道電力として全部拾うべきだって思ってるんですか。
1:50:02	これ。
1:50:05	北海道電力の奥寺でございます。これまでの検討で、防波堤を損傷させた場合の上げの影響と、というような、例えばそういう検討を進めてきたりした中で、
1:50:20	影響が結構あるということがわかってきましたので、
1:50:25	現在の方針としては、これらを、
1:50:29	地形ごとに評価項目ごとに分けて波源を設定しようとそういう方針でおります。以上です。
1:50:40	規制庁の名倉です。
1:50:42	ちょっと
1:50:44	具体的に、
1:50:45	これ、議論の対象にならないんだけど、聞いてみたかったのは、具体的に聞くと、
1:50:51	3号取水口の上昇側のところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:57	横方向に四つ数字が並んでいるものの、左から一つ目と二つ目。
1:51:02	これは、
1:51:04	地形モデルが違うだけであって、
1:51:08	基準津波の波源モデルとしては同じもの、組み合わせの時間差も同じものです。
1:51:15	この場合 21.82 メーターっていうものが右から 2 列目にあって、
1:51:23	これが最大値になっていると。一方で左側は 9.51 で 2 メーター以上差がある。
1:51:32	これについて例えば一番左の 9.51 メーターのところの基準津波 2 っていうのを、
1:51:40	これを選定する必要、必然性はあるんですか。
1:51:45	それぞれに対してどういうふうにお答えになられますか。
1:52:28	北海道電力のヤブでございますけれども、
1:52:33	これまで日本海東縁部の波源選定の議論をしてる中で、
1:52:39	今ご指摘のあった地形を 4 パターン、健全地形モデルがベースだったんですけれどもその場に防波堤の損傷ということで 3 パターン合計 4 パターンを、
1:52:51	とせ設定してですね、それぞれシミュレーションをやって数値を出してきておりますので、その過程で、その地形、
1:53:02	地形のケースが違えばですねそれぞれ、
1:53:06	当然は形が変わるわけですから、それぞれ、
1:53:11	基準津波として設定するというような議論は、
1:53:16	高と認識しておりますので、各地区要は縦列ごとですね各地形モデルごとに、基準津波を設定すると、
1:53:26	確かに数値が違うんで、
1:53:29	開放だけでいいんじゃないかという考えがあるかと思っておりますけれども、例えば今後、入力津波、
1:53:38	またさらに地形沈下とかっていう条件を足したとき、それから、
1:53:45	取水どうの、
1:53:49	感度解析をやったときに、今は形が違えば影響も違うだろうというふうに指摘されるとですねやるやらないと、多分大丈夫かどうかっていうのが説明できない。
1:54:01	だろうというふうに考えておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:54:03	それぞれ地形モデルごとに、同じ波源でもですね別な扱いをしていると。
1:54:09	そういう考えでございます。以上です。
1:54:18	規制庁の名倉です。
1:54:22	これぐらい差があるものに対して、選定をするっていう、
1:54:26	だからすごく臆病になってるような、選ぶ能もうほとんど諦めてるような説明をしてるんですけど。
1:54:33	今までのサイトで、そこは念のために確認はしますよと言って確認をして、ひっくり返ったケースもありますけど、
1:54:44	頭からもこれは基準津波として採用しますっていうふうにしていたのは、するのは初めてかなと思ってまして。
1:54:55	そういう意味で、刀禰のために確認をしておきますっていうものについて基準津波としても、選定をしておきますって、
1:55:06	それはただ単に言い方の違いだけであってプロセスは同じですと、藪さんはおっしゃったんだと思いますけど、
1:55:13	基準津波をたくさん選定すればするほど、
1:55:17	後々の影響評価っていうのはそれだけ、
1:55:21	これは
1:55:23	設置変更許可っていうプロセスを、が終わった後でも、基準というのが基準津波なので、
1:55:30	そういう意味で、基準津波が、
1:55:34	変更にならないっていうことでは縛りになるんですけど、そういう意味で基準津波をたくさん、
1:55:41	選んでおく等、説明上は楽かもしれないけれどもそのあと、
1:55:47	一旦許可がなされた後の説明はより煩雑になるんじゃないかなという気はちょっとしますけど。
1:55:53	そういう意味で基準津波わー明らかに、
1:55:57	スクリングアウトできるものはスクリーニングアウトしてもいいんじゃないのっていうのは以前からこちらが申し上げていること。
1:56:04	なんですけど、ここんところは、念のために確認しないと、それは、これだけ下がってもわかんないから、
1:56:12	いやそんなに動くんですかっていう。
1:56:15	そういうところではあるんですけど、
1:56:18	そこら辺の考え方はもう全部選ぶの選んじゃいますという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:24	ことなんですかね。
1:56:29	それは、以前から確認ができるものはちゃんとスクリーニングアウトした方がいいですよと言ってるんだけどそれは多分、勇気がなくてできませんと。
1:56:39	いうこと。
1:56:41	なんですね。
1:56:51	北海道電力の藪でございます。
1:56:54	多分たサイトウさんは、
1:56:59	基準津波の段階で地形モデルを、こんだけバラエティに分けてですねや ってるサイトはちょっとないのかなというふうに認識してますので、
1:57:12	そういう意味では泊オリジナルーその段階でとな泊オリジナルにはな ってるなと思ってまして。
1:57:20	確かに、
1:57:24	奇形モデルごとにこれを変える必要があるかどうかという議論は今名 倉さんのご指摘の通り、我々も例えば後段の入力津波ですとかその後の 対応という意味では、
1:57:39	数が増えれば増えるだけちょっと大変だなっていうのは10 認識はして おります。
1:57:46	ただ例えば
1:57:48	1メートルの差があったらいいのか2メートルの差があったらいいのか っていうあたりをですね
1:57:55	定量的にその根拠を説明するっていうのは、
1:58:00	この数字だけ見て説明していくのはなかなか難しいかなと、地形の影響 がじゃあどれだけあるのっていう、その地形が変わることによっては形 が変わったことの影響、
1:58:11	感度解析とかにどれだけ出るのっていうようなことも含めてですね定量的 にちょっと説明する難しいかなと思う。
1:58:19	しておりますので、
1:58:20	そういう意味で、
1:58:24	全部、もうやらざるをえないかなという認識でございます。
1:58:31	規制庁の名倉です。
1:58:35	ということは、私もちょっとそこは、確かにおっしゃる通りかなと思っ ているところがちょっとあってそれは他のサイトでは、こういった、
1:58:46	包丁で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:48	防波、防波堤の損傷するしないっていうのは、
1:58:55	島根では基準津波、
1:58:59	への影響を見たんだけどもそれ以外のところは、どちらかという、 入力津波の方のケースとしてやって影響評価っていう形でやったって いうところがほとんどだったのかなというふうに、
1:59:12	認識をされていて、その観点で見た時にはこのサイトは、
1:59:17	支配的なのは、左から2列目のところの、
1:59:22	損傷なし、喜多南両方とも損傷なし。
1:59:27	そうじゃなくて岸北南とも、何もない状態。
1:59:32	なくなった状態を想定した方が、
1:59:36	ほとんどの
1:59:39	観測点。
1:59:41	評価点においては、チャンピオンになるとただし、
1:59:45	実際、パラメータサジをやってこれ入力津波じゃなくて基準津波の中で やると、放水工の上昇側と貯留堰を下回る継続時間とパルスを考慮しな い時間。
1:59:57	これに関しては、左から2番目の、
2:00:01	んぼ北防波堤南防波堤がないものとしたケースではないもないケース が、
2:00:09	トップになるので、この
2:00:13	何て言うのかな。
2:00:17	一つにモデルを絞った場合についてひっくり返るケースは、すべてこれ 拾ってますと。
2:00:23	いうふうにちょっと解釈されるんですけどね。
2:00:26	微妙な数値っていうところは若干あって、
2:00:30	それが例えば、3号取水口の上昇側でいくと11.82と11.5に、一番右側 の数値とか、あと12号取水口上昇側でいくと11.84、
2:00:44	と11.57ぐらいが近接していて、
2:00:48	すいませんそういう意味で私は
2:00:51	何て言うのかな。
2:00:52	トップのものと近接したもの。
2:00:55	それに近接したものを拾えば、その目的は達成できるんじゃないかなっ てふと思っただけです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:02	これが他のサイトに比べて非常に細かくですね、値清水に影響評価をやるっていう観点でやられてるのは理解はしてるんですけど、
2:01:12	ここまで全部拾い切る必要があるのかなあってふと思っただけです。
2:01:27	名倉さんのおっしゃるご趣旨も十分理解をしておりますが、
2:01:33	おっしゃるように例えば放水高の上昇側なんか見ていただいてももう数センチのさあ、
2:01:39	で、それぞれチャンピオンが決まってきている状況で、
2:01:45	もともとの地形モデルを
2:01:49	オフた理由は、結局そういう損傷を考慮した時に波源が変わってかないのかと別の波源が選定されないのかっていうようなこと。
2:01:59	発端ではあったんですが結果的に元が変わるかどうかもですね定量的にちょっと説明が難しくてやらない。
2:02:07	とパラスタを全部やっぱやらないと決まらないと。事実は元が、例えば防波堤なしの状況だと波源が変わるっていうことも現象も出ておりますのでそういう、
2:02:19	確率的にどんな現象が起きてからこの地形モデルが代表でいいんだっていう説明はちょっとできなかった。
2:02:26	できないという判断もありましたので、
2:02:31	やむを得ずという大変ですけども、網羅的にやったこの数値をですね全部、この先も検討していくというふうに考えております以上です。
2:02:47	規制庁の名倉です。
2:02:50	モデルの違いはあるんだけどまず、
2:02:53	例えば放土工の今のところ言われたところでいくと波源一緒ですよな4017って。
2:03:00	組み合わせの時間も含めて、
2:03:02	これはモデルが違うだけですね。
2:03:05	てっていうことで、そういう意味では元のバリエーションとして、どれぐらいあるのか。
2:03:13	ていうのをちょっと整理してもらってもうちょっとシンプルな、
2:03:16	基準津波の波源の選定ケースになるんじゃないかなと思いますけど。
2:03:21	波源と多分間野モデルはセットだっていうのわかるんですが、まずは波源としてのバリエーション
2:03:29	について整理をするとそうずっと波源は限られているってことがわかると思います。今よりも限られている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:37	ちょっとそういうふうな見せ方をちょっとしてもらえればなと思います。
2:03:44	北海道電力藪でございます。先ほど谷さんから波源の整理というような指摘がございましたのでちょっとそこは、
2:03:54	整理してですね、わかりやすいようにしたいと思いますが
2:03:59	若干やっぱり組み合わせの時間がずれていたりとかっていう、さらに、
2:04:03	バリエーションがちょっと増えたりもしてですねなかなかちょっと整理が難しいかなとは考えておったところですがそこは整理してまた後、お示ししたいと思います。以上です。
2:04:14	規制庁谷ですけど一応確認しておきますけど、これ、基準津波って、基準津波定義位置っていうのを作って、基準津波を定義するわけなんですけれども、
2:04:26	これはあれなんですか基準津波例えばAとBってというのが、波源は一緒だったら基準津波定義位置の基準津波っていうの一緒じゃないですか。
2:04:37	定義位置での、は形は一緒なんだけど違う基準津波をつくるっていうそういう説明をされてるんですよ。
2:04:45	そういうことでいいんですか。
2:04:54	北海道電力奥寺でございます。
2:04:58	地形モデルが変わると、波源モデルとか、
2:05:02	秒数、時間差等が同じでも、は形自体が、定義位置で変わってしまうので、
2:05:12	重畳の時間差が違えばもちろん変わりますけれども、モデル自体変わってしまうとは形自体は全部変わってしまうかなと。
2:05:20	そういう、
2:05:22	考えですけども、
2:05:24	禿げも一緒なんですけど、
2:05:27	規制庁小、はい。
2:05:32	あ、すいませんどうぞ。
2:05:33	タニです基準津波定義位置って反射の影響がないところ、ないところ少ないところ。
2:05:39	じゃなかったんですかねちょっとここあんまり議論してもあれなので、何かその辺が私わからなくて、違うんだったら違うで。
2:05:49	選ぶっていうのは、それ事実確認としてししときますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:54	ちょっと私、さっきのところ、疑問に思ったところと、もう1点言うと、し時間低下時間なんですけどこれって、パルスを考慮しない時間と両方やっぱり選ぶような
2:06:07	印象を受けたんだけどこれ使うんですかねそのあとで、その貯留堰を下回る。
2:06:12	継続時間とかいうのは、後段の検討で、
2:06:17	使わなきゃいけないんですけどこのパルスを考慮しない時間だけで、何か、
2:06:22	話は進んでいかないものなんですか。
2:06:25	その後段のことも考えて残してるっていいんですかね。
2:06:31	残してる、残そうとしてるっていいんですかね。
2:06:51	北海道電力の奥寺でございます。
2:06:54	この貯留堰を下回る継続時間と、パルスを考慮しない時間。
2:06:59	に関しては、管路解析をやったときに、どういう状況になるかっていうところは、今、
2:07:09	から定量的なこと言えないんで、
2:07:13	これまで議論、議論のあったところで言いますと、
2:07:17	残しといた方が良いのかなとそういうような、
2:07:22	考えております。
2:07:24	我々としてS Eテーカーに関するところってのはこれまでの審査の中で少し我々の考え示したことございますけれども、
2:07:35	実際テーカー。
2:07:38	低下する。
2:07:39	ポンプ位置での水位低下の観点からは、
2:07:43	水位が回復しない貯留堰を下回る継続時間の方が厳しいんじゃないのかなと、そういうふうなふうに考えておりますけれども念のためパルスを考慮しない時間も、
2:07:55	検討しようかなと考えてございます。以上です。はい、谷です。なんかそんな話は前も聞いたかもしれないんですけどこれってでも、
2:08:05	設計側で考えるときに、
2:08:09	何ていうんすかねその葉系をそのまま絶対使わなきゃいけないというわけでもなくて別に回復分を見ないとか、なんかやテクニックの中でやりようはありそうな気がしてそのためにこのなんかたくさん選ぶんかなっていうのを、
2:08:22	見ててですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:26	本当に必要なのかなのかってというのが、私の方としてはよく、よくわからなかったってところで、確認した次第なんでその辺の、だから考え方もですね何か一度整理していただけたらと。
2:08:40	思いますので、
2:08:43	お願いします。
2:09:02	北海道電力の奥寺でございます。
2:09:06	そう、それらの考え方の整理含めて、
2:09:11	検討いたします。
2:09:56	、規制庁のミチグチです。
2:09:58	すいませんちょっと 104 ページで、
2:10:00	ちょっと教えていただきたいんですけども。
2:10:04	さっき
2:10:06	パラメータスタディの範囲の説明のところで、
2:10:10	3号炉取水口の水位変動量のピークが、元の T M A C C S とかその範囲とかだと、何かピークが見えてないんで、緑の、
2:10:22	パラスターを拡大してっていう話だったと思うんですけど。
2:10:27	それを実施したら、その
2:10:30	したところ、上昇側の方ですね 110 秒後のところへ、13.48 メートルってあるんですが、
2:10:37	その透水変動量、あ、すみません、下降側の水位変動量のピークを探すために、パラスターを拡大してやったら、上昇側のほうの水位変動量でも、
2:10:48	最大のケースが見つかったという認識でよろしいですか。
2:10:56	北海道電力の青木です。104 ページの、もともとは 50、23 秒から 50 秒の範囲でパラスターをやっていきました。その結果 3号炉取水口下降側の政変通りを見ていくとピークが出てこないと。
2:11:12	いうところでパラスターの範囲を 135 秒まで拡大した結果、加古川の方でもピークを見つけたと。その結果に付随して膨張で全面上昇側、
2:11:23	についてもう一度 P E E K 出てるかと思っていたんですが、この追加の緑色の P E E K 探す観点で、別途こちらについてもピークが出てきたというところで、最終的にはパラスターをこの T s から T s A S T I の範囲で、
2:11:38	網羅、ほぼ網羅的にやってるので、ピークは確認できたというところで認識については、確認された通りの認識かと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:49	わかりましたありがとうございます。あとすいません、ちょっともう1回、今度112ページで、すみません同じような話なんですけど、そのパラスターをやってったら、135秒のところで、
2:12:03	上昇側とか、下降側の水位変動量とかでP E E K出てると思うんですけど、
2:12:08	範囲がきつと組み合わせの時間差の範囲でやってるからだと思うんですが、
2:12:13	例えばその140秒ってなったときとか、そのピークが、もっと水位が上がったりとか、
2:12:20	してるのかとかまあ、ちょっとその辺どういう判断でまずこの135秒で終わりにしたかっていうところを教えてくださいませんか。
2:12:31	北海道電力の青木です。
2:12:33	検討の順序としましてはまず組み合わせの時間範囲というところで、 $T_s$ から $T_s + T_D$ というところで、この23秒から135秒。
2:12:44	ここは検討する時間差の範囲の大前提というところで先に設定をしてございます。基本的なパラスタの考え方としてはこの範囲の中で、衛藤、
2:12:55	日本海東縁部の地震が発生した後に、陸上地すべりの頭が発生するという基本的な考え方に基づいてこのパラスターの範囲というところで135秒。
2:13:05	までを限度として設定しております。仮に135秒より大きくしたらどうなるかっていうところなんですけど検討としては、135秒まででしか、陸上地すべりが発生しないというところでここで検討は打ち止めになっております。説明以上です。
2:13:22	はい、わかりましたありがとうございます。
2:18:13	規制庁谷ですけど。
2:18:16	ちょっと今日も時間も大分過ぎてしまっていて、確認は以上にしたいんですけど、
2:18:24	これも何かすでにいろいろこう、もうちょっとわかりやすくっていうようなことで、いろいろ何か資料修正の方、或いはた。
2:18:34	ちょっと何て言うんすかね表評価みたいなものもしなきゃいけないのかもしれないですけど、これ、
2:18:41	修正のイメージはどれぐらいで考えます。今答えられなかったら後で連絡いただけたらいいんですけど、
2:18:52	この資料は共有外していいですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:18:57	北海道電力の奥寺でございます。
2:19:00	ちょっと作業を伴うようなところも、
2:19:03	あたり考えればならないこととかもあります。検討期間、ちょっと持ち帰らせてください。
2:19:12	決まりましたら、報告いたします。以上です。
2:19:18	規制庁丹です正確なめどとここまでにしても正確な日付とかはいいので大体どれぐらいの1ヶ月ぐらいなのか2週間ぐらいなのかその辺がわかりましたらまた。
2:19:28	連絡いただけたらと思いますわ。我々のちょっと準備の関係でですね。
2:19:32	よろしくお願いします。
2:19:35	あと北海道電力から何か確認しておくこととかありますか。
2:19:44	北海道電力奥寺でございます。ございません。
2:19:53	はい。それでは、
2:19:55	ヒアリングの方の終わりにしたいと思います。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。